

関西医科大学 広報



約8,800平方メートルの旧本館跡地に池や東屋を備えたホスピタルガーデンが開園

総合医療センターがグランドオープン

Vol.42

CONTENTS

法人：90周年記念式典実施

P.1

大学：平成31年度大学院医学研究科
募集要項

P.14

大学：アジア太平洋地域上位250大学
THEランキングにランクイン

P.3

病院：附属病院病院機能評価認定

P.26

大学：平成31年度入学試験概要

P.9

附属看護専門学校：戴帽式

P.28

創立90周年記念式典・記念講演・祝賀会

7月1日(日)、リーガロイヤルホテル(大阪市北区)において、関西医科大学創立90周年記念式典・記念講演・祝賀会が開催されました。午後2時から同ホテルロイヤルホールにおいて、創立90周年記念式典委員会澤田敏委員長(常務理事)による開式の辞をもって式典が開始され、本学混声合唱団コールクライスによる学歌斉唱に続き、山下敏夫理事長が式辞を、枚方市伏見隆市長、日本私立医科大学協会寺野彰会長(獨協学園理事長)らが祝辞を述べました。

午後3時10分からの記念講演では、第一部では山下理事長が「関西医大の90年－歴史と現在に感謝し、未来にはばたく－」、第二部では京都大学iPS細胞研究所山中伸弥所長が「iPS細胞がひらく新しい医学」と題して、それぞれ講演しました。

同ホテル光琳の間に会場を移して行われた午後4時45分からの祝賀会では、友田幸一学長による挨拶に続き、林芳正文部科学大臣が来賓挨拶を、医学教育振興財団小

川秀興理事長(順天堂大学理事長)、大阪府医師会茂松茂人会長が祝辞を述べました。続いて本学関係者、来賓による鏡開きが行われ、本学同窓会秋田光彦会長の音頭により乾杯が行われました。最後は神崎秀陽常務理事が閉会の辞を述べ、盛会のうちに祝賀会が終了しました。

なお、当日の様子は『広報誌特別号』(近日発行予定)等にて詳しくお伝えする予定です。



式典で挨拶する友田学長

総合医療センターホスピタルガーデンオープン

5月22日(火)、総合医療センターホスピタルガーデンがオープンしました。同施設は、附属滝井病院リニューアル事業計画の一環として計画されたもので、元々附属滝井病院の旧本館があった場所に作られています。国際規格のサッカーグラウンドと同規模である約8,800平方メートルの敷地に、フランスの画家クロード・モネの「睡蓮」をモチーフとした池や東屋などをそなえています。患者さんの療養環境向上を目的として、山下敏夫理事長がかつて留学したフランクフルト大学の附属病院から着想を得て、造園。患者さんはもちろん、そのご家族にも心の癒しを提供すること、大規模災害時には避難場所として活用すること、地域住民の皆さんに憩いの場を提供することなど、様々な効果が期待されています。

また、同日午前11時から完成式典が実施され、山下

理事長、総合医療センター杉浦哲朗病院長、守口市西端勝樹市長らによるテープカットに続いて園内の見学、そして総合医療センター本館3階会議室においてメディア向けに概要説明が行われました。



テープカットの様子

【施設概要】

施設名称	関西医科大学総合医療センターホスピタルガーデン
面積	約8,800㎡(サッカー公式グラウンド1面分)
所在地	〒570-8507 大阪府守口市文園町10-15
交通アクセス	京阪電鉄「滝井」駅から徒歩約2分、大阪メトロ「太子橋今市」駅から徒歩約6分
開門時間	午前7時～午後7時 ※年中無休

医学化学講座主任教授に就任して

医学化学講座教授 清水(小林) 拓也



平成30年7月1日付で関西医科大学医学化学講座の主任教授を拝命いたしました。前任の伊藤誠二教授から伝統ある当講座を引き継がせていただくことになり、この重責に身の引き締まる思いでございます。

私は「薬は何故効くのか?」という単純な疑問からスタートして、昭和61年に金沢大学薬学部に進学し、学部では有機化学を学びました。有機化合物を合成し、核磁気共鳴等により化合物の構造を決定していく中で、(有機化合物である)薬物が(タンパク分子としての)受容体にどのように認識され、生体内で作用しているのか、興味を持つ様になりました。平成7年に京都大学大学院医学研究科に進学しました。京都大学では、創薬の重要なターゲットとなっているGタンパク共役受容体(GPCR)の一つであるプロスタグランジン(PG)受容体の生理的・病態生理的役割の解析を行いました。その後、

GPCRの結晶構造解析により原子分解能レベルで薬物と受容体の結合様式を明らかにしています。私は、個々の分子の立体構造に基づく機能発現メカニズムの解明から、それらの分子の細胞での働き、さらに個体(in vivo)でどのような生理的、病態生理的役割を果たしているのかまで、多次元での解析と統合的な理解を目指したいと考えています。

今後は、基礎研究と臨床研究を繋げるよう努力して参りたいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

略 歴

平成 3年 3月	金沢大学薬学部薬学科 卒業
平成 5年 3月	金沢大学大学院薬学研究所修士課程 修了
平成 5年 4月	コスモ石油株式会社 研究員
平成 7年 4月	京都大学大学院医学研究科博士課程 入学
平成10年 9月	京都大学大学院医学研究科博士課程単位取得後退学
平成10年10月	京都大学大学院医学研究科(神経・細胞薬理学)助手
平成16年 4月	インペリアル カレッジ ロンドン留学
平成18年 4月	ERATO岩田プロジェクト グループリーダー(～平成23年3月)
平成19年 7月	京都大学大学院医学研究科(分子細胞情報学)講師
平成24年 7月	京都大学大学院医学研究科(分子細胞情報学)准教授
平成30年 7月	関西医科大学医学化学講座 主任教授

iPS・幹細胞再生医学講座担当教授に就任して

iPS・幹細胞再生医学講座担当教授 人見 浩史



平成30年5月1日付にてiPS・幹細胞再生医学講座主任教授を拝命いたしました。創立90年となる伝統ある関西医科大学で、この度新設される講座を任されることは大変光栄であるとともに、職責の重さに身の引き締まる思いであります。

また選任に携わった方々に深く感謝し、その期待に応えることができるよう努力を続ける所存であります。

私は平成8年に香川大学医学部を卒業し、腎臓内科医として研修を行いました。恵まれた環境で多くの診療に従事し、何の疑問もなく腎臓内科医として頑張っていきたいと思っていました。しかしながら、現在の医学では解決できない症例も多く経験し、基礎研究に答えを求め薬理学講座に異動いたしました。病態解明や新規治療法開発で多くの研究を行いましたが、臨床に従事した経験と患者さんの声から、腎臓を再生したいと考え、京都大学iPS細胞研究所で腎臓再生の研究を行いました。これまでの研究成果を、さらに発展すべく、

関西医科大学iPS・幹細胞再生医学講座で研究を行います。私どもの講座は、iPS・幹細胞応用医学講座とともに、脳、心、腎、肝、胆、膵、血液等への再生誘導技術を有する講座であります。また再生医学を臨床応用することを主目的としております。基礎研究で得た知見を研究室に留めることなく、まず一人から、そして可能な限り多くの患者さんに還元することが出来るよう研究を続けます。再生医学の拠点となるよう努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

略 歴

平成 8年 3月	香川医科大学医学部医学科 卒業
平成12年 3月	香川医科大学大学院医学系研究科 修了
平成12年 4月	香川医科大学医学部循環器腎臓脳卒中内科 医員
平成14年 4月	香川医科大学医学部薬理学 助手
平成15年 7月	米国エモリー大学医学部循環器部門留学 ポストドクトラルフェロー
平成17年 4月	香川大学医学部循環器腎臓脳卒中内科 助手
平成20年 7月	香川大学医学部薬理学 助教 (平成23年7月 京都大学iPS細胞研究所 特任研究員[兼任])
平成29年 5月	香川大学医学部薬理学 准教授
平成30年 5月	関西医科大学医学部iPS・幹細胞再生医学講座 主任教授

衛生・公衆衛生学講座担当、研究教授に就任して

衛生・公衆衛生学講座研究教授 甲田 勝康



平成30年6月1日付で、衛生・公衆衛生学講座の研究教授を拝命致しました。選考に関わって下さった先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。衛生学

は1875年に長與専齋がその名を与えた学問で、日本医学会の部会として最も古い歴史を持ちます。私は、平成元年に関西医科大学を卒業した後、日本衛生学会の編集委員等を務めつつ、北海道、福島、新潟、静岡、大阪、兵庫、香川、沖縄等の市町村で疫学研究を行ってきました。25年間続けている小児期からの生活習慣病予防に関する研究では、教育委員会や保健センターと協力しながら疫学研究を展開しております。加えて、15年前からは、日本人成人女性母集団を代表とする Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) cohort study で骨粗鬆症の研究を行っています。さらに10年前からは、Fujiwara-kyo Osteoporosis Risk in Men (FORMEN) study において、奈良県在住

男性高齢者の生活習慣病に関する追跡研究も行っています。

これら研究に共通しているのは、単に研究データを収集するだけでなく、研究成果を対象者や住民に還元し、一連の活動で築いた信用を生かして対象地域を拡大してきたことです。今後は、これまでのすべての経験を活かし、学内や病院の先生方とも密に連携し、関西医科大学における臨床研究(臨床疫学)の発展に尽力する所存であります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

略 歴

平成 1年 3月	関西医科大学医学部	卒業
平成 3年 4月	浜松医科大学医学部	公衆衛生学 研究生
平成 7年 4月	浜松医科大学医学部	公衆衛生学 助手
平成15年 2月	関西医科大学医学部	衛生学 講師
平成15年 2月	浜松医科大学医学部	健康社会医学 非常勤講師
平成18年 4月	近畿大学医学部	公衆衛生学 助教授
平成19年 4月	近畿大学医学部	公衆衛生学 准教授
平成18年 4月	関西医科大学医学部	衛生学 非常勤講師
平成19年 9月	奈良県立医科大学医学部	公衆衛生学 非常勤講師
平成30年 6月	近畿大学医学部	公衆衛生学 非常勤講師
平成30年 6月	関西医科大学医学部	衛生・公衆衛生学 研究教授

カリフォルニア大学サンフランシスコ校と国外臨床実習受け入れ協定を締結

本学はカリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF、アメリカ)の整形外科と国外臨床実習受け入れに関する協定を締結しました。期間は平成30年5月1日から平成31年4月30日までで、本学からの実習生はUCSF整形外科での研究や教育活動に参加できます。

UCSFはカリフォルニア大学群の1校として1873年に設置されました。医科大学院、看護大学院、薬学大学院、歯学大学院を擁し、健康分野で世界トップレベルの研究、教育を行っています。

アジア太平洋地域の上位250大学に本学がランクイン

6月27日(水)、英国の教育専門誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション(THE)」が実施・集計した「Times Higher Education Asia-Pacific University Rankings: アジア太平洋地域における大学ランキング」が発表され、本学は『201-250』位グループにランクインしました。日本からは89大学がランクインし、本学は近畿大学、北里大学などと並び35位グループとなりました。

なお、このランキングは東アジア、東南アジア、オセアニア地域の38か国の大学を対象としたものです。

平成29年度事業報告

本学の平成29年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、日本医学教育評価機構(JACME)による分野別認証評価の受審予定なども踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

<p>教育</p> <p>医学部 アウトカム基盤型教育に基づく新カリキュラム構築 多職種連携教育開始 ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシー改定</p> <p>大学院 修業年限内での学位授与率向上</p>	<p>法人</p> <p>看護学部設置認可 「くずは病院」事業譲渡 総合医療センターホスピタルガーデン整備 「地域医療連携推進法人」設立協議</p> <p>研究</p> <p>KMU研究コンソーシアムによる研究助成 科研費獲得作業部会設置 研究医長・研究トークランチ責任者合同リトリート実施</p>	<p>診療</p> <p>附属病院 病院機能評価受審 ドクターカー導入 「ひらかた地域医療連携ネットワーク」システム参画</p> <p>総合医療センター 初診患者及び病床稼働率増加施策実施 大阪府がん診療拠点病院としての体制強化</p> <p>香里病院 居宅介護支援事業所(関医ケアプランセンター・香里)開設 関医デイケアセンター・香里の設置準備</p> <p>くずは病院 事業譲渡に伴う学校法人としての開院・運営体制整備</p>
--	---	--

平成29年度・30年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

平成29年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告および平成30年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。

本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、平成29年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

年次監査

- 1)「競争的資金の管理状況(平成28年度対象)」
- 2)「競争的資金管理のモニタリング(平成29年度対象)」
- 3)「稟議システム」
- 4)「人材育成システム(事務職)」

2、平成30年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(平成29年度対象)」
監査対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
監査日程：平成30年7月～8月
- 2) 監査項目：「内部監査の品質管理(学内評価)」
監査対象部門：内部監査室
監査日程：平成30年9月～10月
- 3) 監査項目：「私立大学経常費補助金等の管理状況」
監査対象部門：補助金申請項目管理部門
監査日程：平成30年11月～12月
- 4) 監査項目：「公的研究費管理のモニタリング(平成30年度対象)」
監査対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
監査日程：平成30年12月～平成31年2月

以上

医療安全管理センター 平成29年度インシデント報告集計

医療安全管理センターでは、附属3病院の平成29年度インシデント報告を集計しました。総報告数は、10,890件で患者さんへの影響レベル別件数は、下の表のとおりです。

総報告数は昨年度(10,760件)より増加しました。総合医療センターと香里病院の報告総数は昨年度に比べて少し減少しましたが、附属病院の低レベルインシデント報告数が増加したことで総数は昨年度を上回る結果となりました。

発生した問題の上位4項目は変動なし。

「内服・外用」「転倒・転落」「チューブ類関係」「注射・点滴」で全体の約50%

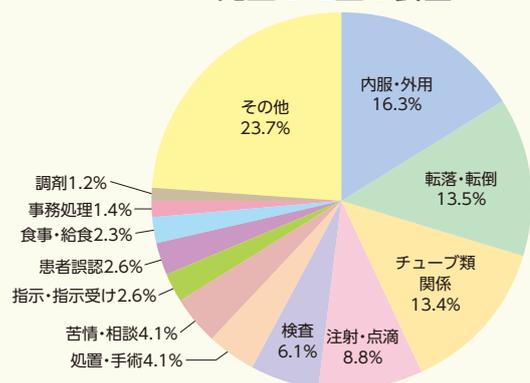
患者への影響レベル別インシデント及び院内死亡報告数

事故が発生する前に気がついた	1,229件
事故は発生したが患者さんへの実害はなかった	4,308件
観察強化などが必要であるが、処置や治療は不要であった	2,457件
処置や治療を要した	1,778件
院内死亡報告	1,118件
総 計	10,890件

インシデント内容は、(1)内服・外用(2)転倒・転落(3)チューブ類(4)注射・点滴に関するものが多く、これらで全体の約50%を占めています。なお、上位の4項目とも昨年度と大きな変化はありません。

平成30年度からは当センターでは、くずは病院を加えた附属4病院の事例検討を通じて、情報や対策の共有を図り、大学全体の医療安全向上を図ります。

発生した主な要因



関西医科大学創立90周年記念事業募金のご案内

創立90周年記念事業募金の第2期活動を鋭意推進中です。本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【募集要項】

1. 募集対象	同窓会会員、本学学生の保護者、教職員、本学関連の個人および法人 なお、同窓会会員には牧野講堂(武道館)建設募金といたします。
2. 募集金額	1口10万円、申込口数1口以上。 多数口のご協力をお願い申し上げます。1口未満もありがたくお受けいたします。
3. 申込方法	寄付申込書に所定事項をご記入ご捺印のうえ、返信用封筒にてお申込ください。 寄付申込書は下記の3種類をご用意しておりますので、いずれかをご提出ください。 ・個人の場合：特定公益増進法人申込書(個人用) ・法人の場合：受配者指定寄付金申込書 特定公益増進法人申込書(法人用)
4. 払込方法	一括払込と分割払込の2種類があります。
5. お問い合わせ先	関西医科大学法人事務局募金室 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号 TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344 メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp URL：http://www.kmu.ac.jp/bokin/index.html

なお、この募金の応募は任意です。

【税制上の優遇措置】

●個人の場合

■所得税(どちらか一方の制度を選択)

(A) 所得控除(「寄附金控除」)

寄付金額から2千円を差引いた金額を所得金額から控除できます。所得控除を行なった後に税率を掛けるため、所得税率が高い高所得者の方に減税効果が高くなります。※寄付金額は総所得金額等の40%が限度となります。

(B) 税額控除(「公益社団法人等寄附金特別控除」)

寄付金額から2千円を引いた額の40%が税額控除の対象額となります。税率に関係なく、税額から直接控除するため、小口の寄付に減税効果が高くなります。

■住民税

お住まいの市町村の条例により個人住民税において寄付金税額控除の対象となることがあります。詳しくはお住まいの市町村の住民税担当課にお問い合わせください。

●法人の場合

受配者指定寄付金制度を利用することで寄付金全額が損金算入されます

確定申告によって最大40%の
税控除をうけられます

創立90周年記念事業募金として平成30年4月1日から平成30年6月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。なお、募集当初から平成30年6月30日までの寄付金累計額は2億7,377万4,460円です。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。



今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	4月2日	入職式	
	4月2日	看護学部新任教員交流会	
	4月21日	第6回医療健康セミナー	
	5月19日	第7回医療健康セミナー	
	5月22日	総合医療センターグランドオープン	
	6月16日	第8回医療健康セミナー	
	7月1日	90周年記念式典・記念講演・祝賀会	
大学	4月6日	平成30年度Student Doctor認証式	
	4月7日	はっと!KOBE健康フェア	
	4月9日	大学院医学研究科入学式	
	4月12日	リハビリテーション医学講座記者会見	
	4月12・13日	1学年合宿研修(医学部)	
	4月24～26日	モンゴルDMAT研修	
	5月8日	第1回医学教育分野別認証評価受審に関するFD	
	5月15日	第88回解剖体追悼法要・平成30年度遺骨返還式	
	5月16日	国外臨床実習成果報告会	
	5月16日・6月20日	新設講座・部門講演	
	6月10日	看護学部オープンキャンパス	
	6月11日	留学生歓迎会	
	6月12日	看護学部FD部会主催研修会	
	6月16日	第37回関西医大白菊会総会	
6月16日	医学部新任教員教育FD開催		
6月19日	名誉教授称号授与式		
6月26日	合宿研修課題川柳表彰式		
病院	4月7日		関西アレルギーカンファレンス
附属病院	4月21日	市民公開講座	
	6月15日・7月2日	災害医療研修会	
香里病院	4月15日	市民公開講座	
附属看護専門学校	5月10日	戴帽式	
卒後臨床研修センター	5月6日	平成31年度採用研修医対象説明会「研修医と語ろう会」	
	5月20日	専門研修説明会	

入職式

看護学部新任教員交流会

第7回医療健康セミナー

名誉教授称号授与式

合宿研修課題川柳表彰式

平成30年度 Student Doctor 認証式

4月6日(金)午後2時から、枚方学舎医学部棟加多乃講堂において平成30年度Student Doctor 認証式が挙行されました。Student Doctorとは、OSCE及びCBTに合格して5学年に進級した学生に対し、臨床実習中の医学生としての医行為を認める制度です。

認証式では友田幸一学長の挨拶の後に学生一人一人へ認定証を授与。野村昌作医学部教務部長の挨拶の後、臨床実習先を代表して、附属病院澤田敏病院長、総合医療センター杉浦哲朗病院長から、自身の経験も踏まえた訓示が述べられました。

最後に学生代表から、Student Doctorとしての誓い

の言葉が述べられ、学生たちは、臨床現場で始まる実習に向けて気を引き締めている様子でした。



友田学長他関係教職員と認証を受けた5学年学生

医学部1学年合宿研修

4月12日(木)・13日(金)、ウェスティンホテル淡路(淡路市)および兵庫県立淡路夢舞台国際会議場(同市)において、医学部1学年の合宿研修が1泊2日の日程で実施されました。

1日目はクラス別懇談会や接遇講習会のほか、本年度から導入されたメンター制度で1学年のメンターとなった教員を中心に、グループ別のディスカッションを実施。2日目には前日のディスカッションをまとめた内容を発表しました。

ディスカッションでは「良医になるための、この1年間のミッション宣言」「この仲間と共に卒業するために成すべきこと」の2つのテーマから1つを選んで討論。寸劇を用いた発表などもあり、創意工夫に溢れるものとなりました。

また、レクリエーション活動では、各グループが協力して紙で作った輪を繋ぎ、長さを競う「輪繋ぎ」ゲームに挑戦。新入生は、合宿での活動を通して教職員や友人とのコミュニケーションを一層深め、大きな成果を得ていました。



集合写真におさまる学生・教職員

平成30年度 関西医科大学入試相談会参加日程

8月以降に参加予定の入試相談会の日時についてお知らせします。

【医学部】

開催地	開催日	時 間	相談会名	会 場	主 催
大 阪	8月3日(金)	12:00～	私立医科系大学進学相談会	新大阪ブリックビル	教育広報社
神奈川	8月11日(土)	11:00～	日本私立医科大学協会加盟大学合同入試説明会・相談会	聖マリアンナ医科大学	日本私立医科大学協会
愛 知	8月16日(木)	12:00～	私立医科系大学進学相談会	ミッドランドホール	教育広報社
大 阪	9月24日(月・祝)	10:30～	医学部進学フォーラム	梅田ハービスホール	日本経済新聞社クロスメディア (ライオン企画(株))
大 阪	9月29日(土)	午後	枚方4大学合同入試説明会	枚方市立メセナひらかた会館	-

【看護学部】

開催地	開催日	時 間	相談会名	会 場	主 催
大 阪	9月17日(月・祝)	13:00～	看護系大学フェア2018 大学進学相談会	グランフロント大阪 北館タワーB10階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム	(株)さんぽう
大 阪	9月29日(土)	午後	枚方4大学合同入試説明会	枚方市立メセナひらかた会館	-

平成31年度 医学部入学試験概要

平成31年度から医学部において、学校推薦入学試験、特色入学試験(英語型・国際型・科学型)およびセンター・一般併用入学試験を導入します。各入試の概要は以下の通りです。

【学校推薦入学試験】

募集人員	10名
募集区分	特別枠(専願)
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月12日(月)必着
出願要件	全体の評定平均値および6教科の評定平均値が4.0以上
出願資格	高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
第1次試験：書類選考 第1次試験結果通知日：平成30年11月20日(火) 第2次試験日：平成30年11月25日(日) 第2次試験試験科目：小論文、適性検査、面接 第2次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟 第2次試験合格者発表日：平成30年11月30日(金)正午	

【特色入学試験】

募集人員	若干名
募集区分	一般枠(併願可能。但し、本学の学校推薦入試と特色入試の併願は認めない)
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月12日(月)必着
出願要件	【英語型】 CEFR B2 以上 【国際型】 国際バカロレア試験の総合成績36点以上 【科学型】 国際科学オリンピックにおける過去3年間の日本代表最終選考等の参加者
出願資格	高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者(国際型を除く)
第1次試験：書類選考 第1次試験結果通知日：平成30年11月20日(火) 第2次試験日：平成30年11月25日(日) 第2次試験科目：小論文、適性検査、面接 第2次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟 第2次試験合格者発表日：平成30年11月30日(金)正午	

【センター試験利用入学試験】

募集人員	10名
募集区分	一般枠
出願期間	平成30年12月10日(月)～平成31年1月18日(金)必着
出願要件	高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
第1次試験日：平成31年1月19日(土)・1月20日(日) 第1次試験科目：国語：(近代以降の文章のみ)、数学：『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』の2科目必須、 理科：「物理」「化学」「生物」から2科目選択、外国語：「英語」(リスニング含む) 第1次試験会場：大学入試センター各自受験地 第1次試験合格者発表日：平成31年2月7日(木)午前10時 第2次試験日：平成31年2月9日(土) 第2次試験科目：面接(第1次試験合格者に対して実施) 第2次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟 第2次試験合格者発表日：平成31年2月15日(金)午前10時	

【センター・一般併用入学試験】

募集人員	10名
募集区分	一般枠
出願期間	平成30年12月10日(月)～平成31年1月18日(金)必着
出願要件	左記センター利用入学試験の出願要件と同様
<p>第1次試験日：①平成31年1月19日(土)・1月20日(日) ②平成31年1月26日(土)</p> <p>第1次試験科目：①国語：(近代以降の文章のみ)、地理歴史・公民：「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」から1科目選択、数学：『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』の2科目必須、理科：「物理」「化学」「生物」から2科目選択、外国語：「英語」(リスニング含む) ②数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数学Bは数列、ベクトルを出題範囲とする)、外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ、理科：『物理基礎・物理』『化学基礎・化学』『生物基礎・生物』の3科目から2科目選択(試験場で問題配付後、選択する)、小論文</p> <p>第1次試験会場：①大学入試センター各自受験地 ②大阪会場：インテックス大阪6号館、東京会場：TOC五反田メッセ、名古屋会場：TKPガーデンシティ栄駅前、福岡会場：南近代ビル</p> <p>第1次試験合格者発表日：平成31年2月7日(木)午前10時 第2次試験日：平成31年2月9日(土) 第2次試験科目：面接(第1次試験合格者に対して実施) 第2次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟 第2次試験合格者発表日：平成31年2月15日(金)午前10時</p>	

【一般入学試験(前期)】

募集人員	約86名
募集区分	一般枠 ※大阪府地域枠、静岡県地域枠含む ※若干名、特別枠を募集する場合がある
出願期間	平成30年12月10日(月)～平成31年1月16日(水)必着
出願要件	左記センター利用入学試験の出願要件と同様
<p>第1次試験日：平成31年1月26日(土)</p> <p>第1次試験科目：数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数学Bは数列、ベクトルを出題範囲とする)、外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ、理科：『物理基礎・物理』『化学基礎・化学』『生物基礎・生物』の3科目から2科目選択(試験場で問題配付後、選択する)、小論文</p> <p>第1次試験会場：大阪会場：インテックス大阪6号館、東京会場：TOC五反田メッセ、名古屋会場：TKPガーデンシティ栄駅前、福岡会場：南近代ビル</p> <p>第1次試験合格者発表：平成31年2月5日(火)午前10時 第2次試験日：平成31年2月9日(土) 第2次試験科目：面接(第1次試験合格者に対して実施) 第2次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟 第2次試験合格者発表：平成31年2月15日(金)午前10時</p>	

【一般入学試験(後期)】

募集人員	6名
募集区分	一般枠 ※大阪府地域枠、静岡県地域枠含む
出願期間	平成31年1月28日(月)～2月21日(木)必着
出願要件	左記センター利用入学試験の出願要件と同様
<p>第1次試験日：平成31年3月2日(土)</p> <p>第1次試験科目：数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数学Bは数列、ベクトルを出題範囲とする)、外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ、理科：『物理基礎・物理』『化学基礎・化学』『生物基礎・生物』の3科目から2科目選択(試験場で問題配付後、選択する)、小論文</p> <p>第1次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟(志願者多数の場合、近隣の施設を使用することがあります)</p> <p>第1次試験合格者発表：平成31年3月8日(金)午後5時 第2次試験日：平成31年3月12日(火) 第2次試験科目：面接(第1次試験合格者に対して実施) 第2次試験会場：関西医科大学校方学舎医学部棟 第2次試験合格者発表：平成31年3月15日(金)午前10時</p>	

詳細は、平成31年度医学部学生募集要項をご確認ください。

平成31年度 看護学部入学試験概要

平成31年度は看護学部において、推薦入学試験とセンター試験利用入学試験を新たに加え、3方式の入試を実施します。各入試の概要は以下の通りです。

【推薦入学試験】

募集人員	30名
出願期間	平成30年10月25日(木)～11月7日(水)必着
出願資格	高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を平成31年3月卒業見込みの者または平成30年3月に卒業した者
試験日：平成30年11月18日(日) 試験科目：小論文、基礎学力試験、面接 試験会場：関西医科大学枚方学舎看護学部棟 合格者発表日：平成30年11月22日(木)正午	

【センター試験利用入学試験】

募集人員	10名
出願期間	平成30年12月10日(月)～平成31年1月18日(金)必着
出願資格	高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
【大学入試センター試験】 試験日：平成31年1月19日(土)・1月20日(日) 試験科目：外国語：英語(リスニング含む)、国語(近代以降の文章のみ)、数学もしくは理科(「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」、「物理」、「化学」、「生物」、「物理基礎、化学基礎」、「物理基礎、生物基礎」、「化学基礎、生物基礎」から1科目選択) 試験会場：大学入試センター各自受験地 【大学個別試験】 試験日：平成31年1月27日(日) 試験科目：小論文 試験会場：関西医科大学枚方学舎医学部棟(志願者数により看護学部棟を使用する場合あり) 合格者発表日：平成31年2月8日(金)午前10時	

【一般入学試験】

募集人員	60名
出願期間	平成30年12月10日(月)～平成31年1月17日(木)必着
出願資格	上記センター利用入学試験の出願要件と同様
試験日：平成31年1月27日(日) 試験科目：小論文、外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、国語(古文・漢文除く)、『数学Ⅰ・A』・『生物基礎・生物』・『化学基礎・化学』から1科目選択 試験会場：関西医科大学枚方学舎医学部棟 合格者発表：平成31年2月2日(土)午前10時	

詳細は、平成31年度看護学部学生募集要項をご確認ください。

第88回解剖体追悼法要・平成30年度遺骨返還式

5月15日(火)午前10時から臨済宗建仁寺派大本山建仁寺(京都市東山区)において「第88回解剖体追悼法要」が営まれました。医学の発展に寄与するため篤志によりご献体くださった故人のご遺族や白菊会会員、友田幸一学長をはじめとする教職員、3学年学生など関係者331名が参列。施主代表の友田学長が追悼の言葉を述べた後、僧侶による読経が捧げられ、参列者による焼香が行われました。

その後、午前11時から同所で「遺骨返還式」を挙行。10柱の遺骨がそれぞれのご遺族へ返還され、あわせて文部科学大臣からの感謝状が贈呈されました。

また、当日は同寺塔頭正伝永源院にある本学慰霊碑を、多くの参列者が訪れ参拝しました。



追悼の言葉を述べる友田学長

第37回関西医大白菊会総会が開催

6月16日(土)午後1時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において、「第37回関西医大白菊会総会」が開催され、友田幸一学長を始め白菊会会員ら174名が参加しました。冒頭、混声合唱団コールクライスが白菊会の歌を合唱。友田学長の挨拶に続き、白菊会役員の紹介があり、藤澤直子会長が挨拶しました。その後、行事・会計報告、会計監査報告、平成30年度予算審議、卒寿記念品の贈呈と続き、全員で記念撮影を行いました。

また、同会場で引き続いて行われた第2部では、堂迫千草副会長と堂迫康雄トリオ、ゲストに正念寺一法真證住職を迎え、「堂迫千草オンステージ」を開演。会場全

体で声を合わせて歌う場面も見られるなど、盛り上がりました。



第2部で軽快な演奏を披露する堂迫副会長ら

救急医学講座梶野講師を含むチームがモンゴルでDMAT研修を実施

4月24日(火)～26日(木)、モンゴル国ウランバートルにおいて、救急医学講座梶野健太郎講師、兵庫県災害医療センター中山伸一センター長を含む日本人チームが、救急・災害医療従事者研修(モンゴルDMAT: Disaster Medical Assistance Team研修)を実施しました。これは、WHO(世界保健機関)およびモンゴル国の保健省から依頼され、本学衛生・公衆衛生学講座大学院生でありモンゴル国から留学しているDr. Chinbaatar Bayarmaaと梶野講師が準備を進め、実現したものです。

研修では、梶野講師が日本の災害医療制度や救護所での標準的な治療、トリアージのコンセプトについての講義を行ったり、トリアージや災害時の病院支援など実践

的な訓練の指導を行ったりしました。また、モンゴル国側からは、同国における災害・緊急時の対応、アプローチについて説明が行われ、研修の最終日には参加者に修了証が授与されました。



モンゴルDMAT研修参加者の集合写真

医学部新任教員教育FD・看護学部FD委員会主催研修会開催

6月16日(土)午後2時から枚方学舎医学部棟2階第4講義室において、「平成30年度新任教員教育FD－本学の医学教育の現状を知る－」が開催され、医学部に新たに採用された教員60名が参加しました。

友田幸一学長挨拶及び大学概要説明に続き「本学のカリキュラムについて」「分野別認証について」「本学のクリニカル・クラークシップ」「本学のCBTについて」「本学のOSCE、PostCC-OSCEについて」「本学の国試対策について」「本学の教員評価制度について」と題した7つの講演が行われ、参加者は本学における教育活動について学びを深めました。

また、6月12日(火)午後5時から枚方学舎看護学部棟3階第2講義室において、「看護学部・看護学研究科FD委員会主催研修会」が開催され、看護学部教員、大学院生および附属病院職員らが参加しました。

2回目となる今回は「看護学部教員の研究テーマを知ろう」をテーマに、看護学部安酸史子教授(看護学教育領域)、三木明子教授(精神看護学領域)、加藤令子教授(こども看護学領域)がそれぞれ自身のこれまでの研究について講演しました。



安酸教授の講演を聴講する参加者

「はっと！KOBE健康フェア」に本学が参加

4月7日(土)午前10時から、WHO神戸センター(兵庫県神戸市)において「はっと！KOBE健康フェア」が開催されました。このイベントは1948年4月7日にWHO(世界保健機関)が設立されたことを記念して制定された“世界保健デー”に合わせ、神戸市が推進する神戸医療産業都市構想の20周年を記念して開催されたもの。同イベントでは関西公立私立医科大学・医学部連合がブースを出展し、友田幸一学長も来場しました。

また、講演コーナーではリハビリテーション医学講座長谷公隆教授が登壇し「介護予防のためのリハビリテーション」と題して、要介護状態に陥らないために有効なリハビリテーション治療に関する研究成果を紹介しました。さらに展示コーナーでは、健康科学教室木村穰教授が活動量計を活用したヘルスケア研究について出展。ブースを訪れた市民は興味深そうに、木村教授の説明を聞いていました。

看護学部近藤教授が岡山県看護協会会長表彰を受ける

6月23日(土)午前9時から、岡山コンベンションセンター(岡山市北区)において岡山県看護協会総会が行われ、看護学部近藤麻理教授が会長表彰を受けました。

近藤教授コメント

郷里の岡山県看護協会では、平成19年から災害看護の講師として看護職への災害の意識改革と知識・技術の向上に貢献したことが評価されました。近年、施設での災害対策にも取り組み、平成28、29年には東京都首都災害医療センター基本構想検討委員を務めました。岡山県看護協会会長をはじめ、常務理事、災害委員会、教育委員会の皆様には、岡山県独自の災害看護の発展を推進してくださっていることに心より感謝申し上げます。



本学学生が、医学教育振興財団の研究医養成奨学金に決定

平成29年11月、公益財団法人医学教育振興財団(理事長・小川秀興氏)の平成29年度基礎研究医養成奨学金に本学4学年(当時)の大舟晃平さんが選ばれました。これは、近年声高に叫ばれるようになった“基礎医学研究の崩壊”に対処するため、医学教育振興財団が基礎研究医の養成を目的に平成26年度から始めた給付型奨学金。大舟さんは医学部学生としてのカリキュラム受講と並行し、研究医養成コースの受講生として脳神経外科学講座において研究活動を進めており、ヒトグリオーマがん幹細胞をテーマに、その病態解明に取り組んでいることが評価され、全国の応募者の中から9名の奨学金給付対象者に選ばれました。

大舟さんコメント

基礎研究医養成奨学金を獲得できた上に、今まで患者さんのために頑張ってきた研究がこういう形で評価されたことは大変嬉しく思います。今後も患者さんのためになる研究を続けていこうと思います。

国外臨床実習成果報告会

5月16日(水)午後5時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において「国外臨床実習成果報告会」が開催され、1学年学生の他、国外での臨床実習に興味を持つ教職員・学生153名が聴講しました。

本学の国外臨床実習は、希望者の中から選抜された6学年学生が、協定先国外施設において実習を行うもの。今年は13名が、グラスゴー大学(イギリス)、チュービンゲン大学、レバークーゼン総合病院(以上ドイツ)、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、バーモント大学(以上アメリカ)、マレーシア国立循環器病センター(マレーシア)、トロント小児病院(カナダ)の7施設で実習を行いました。

報告会では国外臨床実習に参加した学生が、実習スケジュールや実習先の地域の特徴などについて英語で参加者に報告しました。

留学生歓迎会開催

6月11日(月)午後6時から枚方学舎医学部棟4階カフェテリアにおいて、新たに本学へ来学した留学生・研究員の歓迎会が開催され、会場には友田幸一学長、国際交流センター鈴鹿有子センター長、留学生の他、医学部学生や4月に開設した看護学部の学生ら、過去最多となる総勢57名が集いました。

鈴鹿センター長による開会挨拶に続いては、新たに来学した留学生らの自己紹介の他、既に来学している留学生から、日本や本学滞在中におけるアドバイスなども披露され、にぎやかな会となりました。

最後は国際交流センター岩井大副センター長(耳鼻咽

喉科・頭頸部外科学講座教授)の閉会挨拶で幕を閉じました。



参加者による集合写真

平成30年度大学院医学研究科入学式

4月9日(月)午後3時から枚方学舎医学部棟4階中会議室において、平成30年度大学院医学研究科入学式が挙行されました。友田幸一学長をはじめ教職員13名が出席する中、医科学専攻に入学した留学生4名を含む30名が、大学院生としての一步を踏み出しました。入学者へ向けての式辞では友田学長が「昨今論文データの改ざんなどが問題となっているが、そのようなことは絶対にせず、真の成果を出して堂々と発表してほしい」と激励。藤澤順一大学院医学研究科教務部長からは「3つのP(Period・Program・Paper)を胸に留めて研究に

励んでほしい」との挨拶がありました。



式辞を述べる友田学長(前方中央)

平成31年度大学院医学研究科学生募集要項(博士課程)

平成31年度学生募集を下記のとおり開始しました。

■募集人員 医科学専攻 計50名(前後期の合計)

■試験概要

	前期〈一般、社会人〉	前期〈外国人〉	後期〈一般、社会人〉
願書受付期間	平成30年7月25日(水)～ 平成30年8月29日(水)	平成30年7月25日(水)～ 平成30年9月14日(金)	平成31年1月4日(金)～ 平成31年1月23日(水)
試験期日	平成30年9月15日(土)	書類審査	平成31年2月2日(土)
合格発表	平成30年10月10日(水)正午		平成31年2月15日(金)正午

■選抜方法 〈一般入試、社会人入試〉 入学者の選考は、学力試験(外国語試験^{*}、研究分野別試験)を総合して行います。※次のいずれかの条件を満たしている場合は、外国語(英語)試験の受験を免除します。

なお、出願時に語学力を証明する書類の提出が必要です。

・TOEFL iBT 80点以上 ・TOEIC 750点以上 ・IELTS 6.0以上

〈外国人入試〉 書類審査を実施します。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/juk/gsreb.html>)をご覧ください。

若手研究者特集

様々な研究活動とその成果が学内外から表彰され、躍動する本学の若手研究者たち。その活躍の一端をご紹介します。

※記事企画時点で40歳以下で、一定の研究成果を持つ研究者の先生方にインタビューする連載企画です。

自己免疫性膵炎の病態解明の糸口を発見

—現在の研究テーマを教えてください。

IgG4関連疾患の膵病変である1型自己免疫性膵炎は、病因が未解明で、確立された治療法も副作用が強いことが課題です。その病因解明や新たな治療法開発の一助として、エクソソームという細胞から分泌される小胞を介した細胞間コミュニケーションを研究しています。

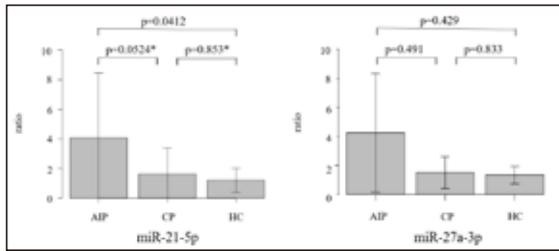
様々な疾患でその病態に関与する疾患エクソソームが報告されており、1型自己免疫性膵炎の疾患エクソソームの特徴を同定できれば、それを治療標的にすることによって新たな治療法開発のきっかけになるのではないかと考えました。

自己免疫性膵炎の患者さんのエクソソームで実際の発現が高かったのが、miR-21というマイクロRNAです。miR-21はTh2細胞優位のT細胞免疫へシフトすることに貢献しているのですが、自己免

疫性膵炎の病態は実際にTh2型のT細胞免疫に偏っていることが報告されていることから、今回の結果は病態と合致しており、miR-21を制御することができれば自己免疫性膵炎の病態解明や治療標的ともなりうるということがわかってきました。

—どのような気持ちで研究に取り組んでいますか。

物事の真理というのは既に決まっているけれども、わからないというのはただ解明されていないだけ。その中で自分自身の研究で解明されたことが少しでも将来役に立てば幸いです。



内科学第三講座
富山 尚 助教

■主な受賞歴

- ・2016年 科研費 若手研究(B)「自己免疫性膵炎における疾患エクソソームの解析」
- ・2017年 PLOS ONE Top 25% Most Cited

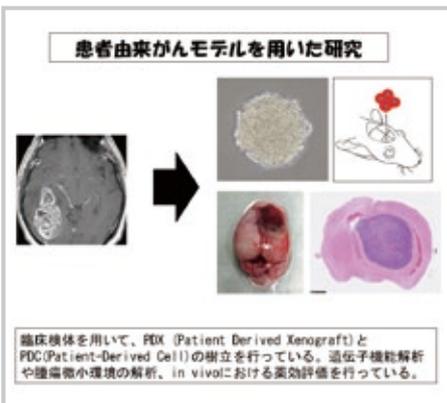
—後輩研究者へメッセージを。

研究は限られたところでしかできません。せっかく大学で働くのであれば、臨床だけでなく自然科学に向き合う人生も素敵だと思います。

グリオーマのがん幹細胞機能解析と治療法の開発に取り組む

—先生の研究テーマを教えてください。

グリオーマという脳腫瘍のがん幹細胞の機能解析と、がん幹細胞を標的とした治療法の開発で、このために、手術で摘出した腫瘍からグリオーマ幹細胞を抽出する技術を研究、習得しました。グリオーマはここ数十年目立った予後改善がなく、治療法の確立には新たな切り口が必要です。そこで、他分野の研究者とも協力しながら、樹状細胞という免疫細胞を用いた方法や、グリオーマがん幹細胞に特異的に発現するバイオマーカーの解析などの様々なアプローチを試みています。



—研究の道に進んだきっかけを教えてください。

入学時から研究に興味があり、難病のメカニズム解明や新規治療法の開発に携わる研究者になりたいとの憧れがありました。ただ、医師になってからは研究に専念できる時間を確保するのがなかなか難しいので、学生時代からどんどん研究に取り組んで、スキルやノウハウを身につけることが大切です。

—どのような気持ちで研究に取り組んでいますか。

脳外科医として患者さんの治療にあたり、その中で気づく問題点や解決方法に対する仮説を立てた後、その検証を行い、更なる改善策を練ります。臨床と違い研究はすぐには結果も出ず、途方に暮れてしまう毎日です。医者として“研究しないこと”を選択するのは簡単ですが、研究し続けることは本当に大変です。しかし、患者さんを診る医師は常に困難かつ未知の道を行くものであり、すべての医師は研究者であると思います。ある考えに固執しないように世界中の様々なジャンル研究者と共同研究などを行い、それによって新たな突破口を開けるのではないかと頑張っています。



脳神経外科学講座
岩田 亮一 助教

■主な受賞歴

- ・2005 櫻根啓子賞
- ・2015 基盤研究C「グリオーマがん幹細胞を標的とした樹状細胞療法の開発に関する基礎研究」研究分担者
- ・2016 若手研究(B)「B7 familyを標的にした膠芽腫の癌幹細胞に対する新規治療法の開発」
- ・2017 基盤研究C「グリオーマがん幹細胞特異的に発現する新規バイオマーカーの機能解析」研究分担者
- ・2017 基盤研究C「ヒト癌幹細胞に対するIFN-α賦活BID遺伝子/放射線集学的治療の検討」研究分担者
- ・2018 基盤研究C「グリオーマ幹細胞を用いたがん組織表現型と遺伝子発現への麻酔薬の影響の検討」研究分担者

平成29年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

文部科学省・日本学術振興会関係

平成30年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
新学術領域研究	5	22,500,000	6,750,000	29,250,000
基盤研究(A)	1	9,000,000	2,700,000	11,700,000
基盤研究(B)	7	25,600,000	7,680,000	33,280,000
若手研究(A)	1	5,800,000	1,740,000	7,540,000
奨励研究	2	980,000	0	980,000
合計	16	63,880,000	18,870,000	82,750,000

(単位:円)

平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
基盤研究(C)	74	73,000,000	21,900,000	94,900,000
若手研究(B)	28	27,500,000	8,250,000	35,750,000
挑戦的萌芽研究	6	13,100,000	3,930,000	17,030,000
合計	108	113,600,000	34,080,000	147,680,000

(単位:円)

平成30年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型)新規	神経機能部門	小早川 高	学長特命准教授	低温と低酸素抵抗性を伴う生体保護代謝アダプテーションの解明	4,500,000	1,350,000
	生理学	眞田 尚久	助教	液体粘性知覚の神経メカニズムの解明	3,400,000	1,020,000
	神経機能部門	小早川 令子	学長特命教授	先天的と後天的な恐怖と食欲情動の統合処理メカニズムの解明	7,300,000	2,190,000
	実験病理学	上野 博夫	教授	舌・食道上皮幹細胞由来正常・異常オルガノイドの単一細胞4D動態・遺伝子発現解析	5,100,000	1,530,000
基盤研究(B)新規	神経機能部門	小早川 令子	学長特命教授	先天的恐怖を誘発する嗅覚刺激による未知の生体保護作用の解明	5,000,000	1,500,000
	内科学第二	塩島 一朗	教授	心疾患におけるnon-canonical Wntシグナルの病態生理学的意義の解明	5,000,000	1,500,000
奨励研究(新規)	リハビリテーション医学	脇田 正徳	理学療法士	高齢者の転倒予防を目指した差動学習に基づく歩行練習の有効性の検証	530,000	0
	リハビリテーション医学	橋本 晋吾	作業療法士	アイマークレコーダーを用いた半側空間無視の新たな分類と介入に関する研究	450,000	0
新学術領域研究 (研究領域提案型)継続	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講師	好中球細胞外トラップを誘導する細胞死メカニズムの解明	2,200,000	660,000
基盤研究(A)継続	神経機能部門	小早川 高	学長特命准教授	恐怖行動を誘発する嗅覚受容体遺伝子の解明	9,000,000	2,700,000
基盤研究(B)継続	こども領域	加藤 令子	教授	障がいのある子どもが自然災害に備えセルフケア能力を高めるための支援構築	3,000,000	900,000
	生理学	中村 加枝	教授	ストレスにより認知過程が変容するメカニズムの探求一分界条床核の役割	2,800,000	840,000
	細胞機能部門	小原 圭吾	講師	海馬新CA2領域の回路基盤と社会性記憶のメカニズムの解明	2,700,000	810,000
	薬理学	中野 智之	教授	弾性線維の形成と再生の分子機構	3,900,000	1,170,000
	形成外科学	森本 尚樹	准教授	高圧処理技術を用いた巨大色素性母斑治療～不活化機序解明と生着率向上	3,200,000	960,000
若手研究(A)継続	神経機能部門	山中 智子	研究員	先天的恐怖に伴う体温低下を制御するメカニズムの解明	5,800,000	1,740,000

(単位:円)

平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 交付内定者(代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	生物学	平野 伸二	教授	神経系における細胞接着分子プロトカドヘリン1の作用機構の解明	1,200,000	360,000
	内科学第三	安藤 祐吾	診療講師	炎症性腸疾患モデルマウスにおけるmicroRNAの制御機構	900,000	270,000
	微生物学	藤澤 順一	教授	HTLV-1慢性感染およびATL発症過程におけるがん微小環境の役割	1,200,000	360,000
	生理学	安田 正治	講師	負の情動下における、セロトニン投射を介した行動制御機構の解明	1,300,000	390,000
	心療内科学	蓮尾 英明	助教	がん患者の不眠障害に対する在宅心身モニタリングの検討	1,100,000	330,000
	内科学第三	内田 一茂	准教授	自然免疫反応からみた1型自己免疫性膵炎の病態解明	1,100,000	330,000
	内科学第二	岩崎 真佳	診療講師	食後高血糖・食後高中性脂肪血症が骨髄幹細胞・血管内皮前駆細胞に与える影響	1,200,000	360,000
	外科学	海堀 昌樹	准教授	インドシアングリーン・ラクトソームを用いた胆嚢痛に対する新規治療法の研究開発	1,100,000	330,000
	iPS・幹細胞再生医学	白水 泰昌	講師	増殖能を有するヒトips細胞由来肝前駆細胞の凍結保存と急性肝不全治療への応用	1,300,000	390,000
	心臓血管外科学	駒井 宏好	診療教授	閉塞性動脈硬化化重症下肢虚血患者の予後に対する悪性新生物の影響	100,000	30,000
	麻酔科学	岩井 鉄平	研究員	グリオーマ幹細胞を用いたがん組織表現型と遺伝子発現への麻酔薬の影響の検討	1,600,000	480,000
	脳神経外科学	浅井 昭雄	教授	グリオーマがん幹細胞におけるOX40シグナルの機能解析	1,600,000	480,000
	眼科	高橋 寛二	教授	網膜静脈閉塞症の病的/生理的血管新生発生要因をOCTアンギオグラフィーで検討する	1,100,000	330,000
	形成外科学	楠本 健司	教授	多血小板血漿による創傷治癒過程における脂肪誘導の検討	1,300,000	390,000
	心理学	西垣 悦代	教授	コーチングを活用した医学生向けレジリエンストレーニングプログラムの作成	1,400,000	420,000
心療内科学	福永 幹彦	教授	光環境サイクルという視点からの、新たな心身症治療法の可能性	400,000	120,000	
基盤研究(C) 継続	精神神経科学	加藤 正樹	准教授	バイオマーカーに基づく無作為割付比較試験による混合性うつ病の治療アルゴリズム構築	500,000	150,000
	衛生・公衆衛生学	三宅 真理	講師	携帯型情報通信技術を用いた介護者のための身体負担量評価システムの開発	500,000	150,000
	放射線科学	中谷 幸	助教	CT透視の術者被曝を低減するシールドの臨床評価	600,000	180,000
	生理学	眞田 尚久	助教	大脳皮質高次視覚領野における複雑運動知覚の情報表現	600,000	180,000
	数学	川浦 孝之	助教	臨床研究統計手法の逆引き探索と自己学習を支援するシステムの構築	400,000	120,000
	神経機能部門	松尾 朋彦	研究員	嗅覚受容体における匂い情報統合機構の解析	700,000	210,000
	実験病理学	吉田 真子	講師	タイムラプスイメージングに基づく膝島形成原理の解明	1,200,000	360,000
	解剖学第一	山田 久夫	教授	サテライトグリアの亜種をマルチモダル組織化学観察によって斬る！	1,200,000	360,000
	解剖学第一	田中 進	准教授	新規オレキシン転写制御因子の機能解析とナルコレプシーへの関与	700,000	210,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講師	細胞動態制御分子Rap1による胸腺制御性T細胞産生シグナルの時空間的制御	900,000	270,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小林 良樹	講師	好酸球性気道炎症の治療ターゲットとしてのステロイド受容体の局在と機能の解析	1,200,000	360,000
内科学第二	高木 雅彦	診療教授	単極記録型ホルター加算平均心電図の開発とJ波症候群における有用性の検討	600,000	180,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	内科学第一	佐竹 敦志	講 師	顆粒球単球コロニー刺激因子の免疫抑制作用を利用した慢性GVHD制御法の開発	1,000,000	300,000
	医化学	片野 泰代	准教授	中枢性感作における脊髄疼痛伝達回路での神経障害性疼痛関連分子BEGAINの役割	800,000	240,000
	放射線科学	米虫 敦	講 師	ハイブリッド手術における医療従事者の水晶体被曝線量評価に関する多施設共同研究	600,000	180,000
	衛生・公衆衛生学	神田 靖士	准教授	検体に尿を用いた結核迅速診断キットの実用化の検討	1,100,000	330,000
	内科学第三	福井 寿朗	講 師	Smad2/3リンカー部リン酸化に着目した癌幹細胞・癌の発生・進展に関する検討	1,000,000	300,000
	iPS・幹細胞再生医学	藤岡 龍哉	准教授	ニッチシグナル阻害によるCD34抗原陰性白血病幹細胞を標的とした抗体療法の開発	1,200,000	360,000
	実験病理学	庄野 朱美	研究員	小児ステロイド抵抗性ネフローゼの疾患遺伝子パネル構築と免疫因子検査体制の整備	700,000	210,000
	小児科学	金子 一成	教 授	ビタミンAとD の免疫作用を利用した微小変化型ネフローゼ症候群の画期的治療の検討	700,000	210,000
	呼吸器外科学	齊藤 朋人	講 師	肺癌前転移ニッチ関連バイオマーカーの特定と先制医療への展開	800,000	240,000
	腎泌尿器外科学	吉田 崇	助 教	副腎皮質再生メカニズムの解明と自家移植への応用	1,000,000	300,000
	侵襲反応制御部門	西 憲一郎	研究員	低酸素誘導性因子1機能調節解析を基軸としたタバコ誘導性肺・気道炎症機構の検討	700,000	210,000
	侵襲反応制御部門	松尾 禎之	講 師	周期炎症管理における新規診断・治療戦略の開発：レドックスバイオロジーの臨床応用	700,000	210,000
	腎泌尿器外科学	松田 公志	教 授	泌尿器内視鏡手術における Ergonomic analysis	600,000	180,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	岩井 大	教 授	細胞性免疫操作による老人性難聴予防	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	兒島 由佳	診療講師	放射線性顎骨壊死の病態と発症リスク因子の解明に関する多施設共同研究	800,000	240,000
	小児科学	高屋 淳二	非常勤講師	都市部貧困がもたらす肥満児予防対策の検討	1,100,000	330,000
	放射線科学	中村 聡明	准教授	高精度がん放射線治療の確立に向けたWeb教育システム開発	900,000	270,000
	解剖学第二	丸山 正人	講 師	グリオーマ癌幹細胞特異的に発現する新規バイオマーカーの機能解析	1,300,000	390,000
	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講 師	COPDマウスモデルの生体肺イメージングによるリンパ球リクルーティング解析	1,500,000	450,000
	衛生・公衆衛生学	保坂 直樹	研究員	再生胸腺微小環境によるT細胞誘導と治療への応用	1,200,000	360,000
	臨床病理学	吉賀 正亨	診療講師	脂肪分解酵素を介する内因性ジギタリス物質の産生機序の関与と高血圧発症機序の解明	1,100,000	330,000
	衛生・公衆衛生学	西山 利正	教 授	ヒトに対して安全な蚊幼虫発育阻止剤を用いた蚊媒介性ウイルス感染症制御の検討	1,200,000	360,000
	法医学	橋谷田真樹	准教授	生前ストレス・年齢・体液を解析する法医メチレーションパネルの開発	1,900,000	570,000
	法医学	松本 智寛	講 師	合成カンナビノイドの体内動態とカタレプシー発現との関連性の解明	1,000,000	300,000
	心療内科学	神原 憲治	講 師	日常生活での心身モニタリングによるストレス評価と疾病リスクの予測についての検討	1,200,000	360,000
	内科学第三	岡崎 和一	教 授	自己免疫肺炎の免疫病態と線維化における自然免疫の関与に関する研究	1,400,000	420,000
薬理学	平井 希俊	講 師	ErbB受容体を介した成熟心筋細胞の増殖誘導	1,400,000	420,000	
実験病理学	熊野 恵城	准教授	肺がん幹細胞の起源の違いに基づく新たな治療標的の探索	1,400,000	420,000	
内科学第二	塚口 裕康	講 師	腎嚢胞形成を促進するシグナル伝達機構の分子遺伝学的研究	1,400,000	420,000	
iPS・幹細胞再生医学	松岡 由和	助 教	ヒト造血幹細胞支持因子の同定と支持機構の解明	1,000,000	300,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	内科学第一	伊藤 量基	准教授	骨髄腫最適化治療に向けたIMiDsと抗体医薬の免疫賦活機序の解明	1,100,000	330,000
	精神神経科学	嶽北 佳輝	講 師	無作為比較試験を基にした治療抵抗性統合失調症の生物学的治療アルゴリズム構築と検証	500,000	150,000
	精神神経科学	織田 裕行	助 教	自殺企図男性のLOH症候群に関する検証	400,000	120,000
	放射線科学	狩谷 秀治	准教授	ナノバブル生成器の開発：バブル投与下超音波照射によるソノポレーション効果での検証	500,000	150,000
	放射線科学	谷川 昇	教 授	悪性腫瘍に対する2種類の同位元素を用いた新しい経カテーテル的放射線塞栓療法の開発	1,600,000	480,000
	外科学	石崎 守彦	診療講師	増殖型遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いた神経内分泌腫瘍に対する新規治療の開発	1,300,000	390,000
	呼吸器外科学	村川 知弘	教 授	ウイルスの関与に着目した胸腺上皮性腫瘍発症メカニズムに関する探索的研究	1,200,000	360,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	microRNAによる妊娠高血圧症候群の病態解明と遺伝子治療への応用	1,000,000	300,000
	腎泌尿器外科学	駒井 資弘	講 師	腎不全進行克服に向けた腎臓における組織幹細胞階層構造解析	1,400,000	420,000
	病態分子イメージングセンター	船津 宣雄	助 教	精母細胞に特異的に発現する転写因子Ovo2の精子形成における役割	700,000	210,000
	腎泌尿器外科学	木下 秀文	准教授	手術動作の医工学的な解析と、それらを基盤とした科学的なトレーニング法の構築	300,000	90,000
	産科学・婦人科学	岡田 英孝	教 授	転写因子HAND2による着床制御機構の解明	900,000	270,000
	形成外科学	覚道奈津子	講 師	脂肪幹細胞の低酸素応答メカニズムの解明と新たな体外増幅法の開発	900,000	270,000
	救急医学	鎌方 安行	教 授	敗血症ショックに対するβ受容体機能調整を利用した新しい循環制御法の開発	800,000	240,000
	救急医学	室谷 卓	講 師	来院時心肺停止患者における赤血球表面上の補体沈着とその侵襲の評価	1,100,000	330,000
こども領域	原 朱美	講 師	こどものセルフケア能力に着目した在宅生活支援モデルの検討	600,000	180,000	
若手研究(B) 新規	精神神経科学	越川 陽介	研究員	精神科医療へのフォーカシングの臨床応用に向けた探索研究：うつ病のQOLに着目して	900,000	270,000
	解剖学第一	大江 総一	助 教	虚血応答因子としての脳由来胆汁酸の生理的意義の解明	1,100,000	330,000
	精神神経科学	西田圭一郎	講 師	マインドフルネスへの経頭蓋直流刺激 tDCSによるオーギュメンテーション法の確立	1,100,000	330,000
	放射線科学	武川 英樹	助 教	頭頸部痛適応放射線治療の適応回数及びタイミングの人工知能に基づく最適化基盤の構築	1,200,000	360,000
	放射線科学	姉帯 優介	助 教	放射線治療計画の品質を高める包括的研究	800,000	240,000
	放射線科学	小野 泰之	助 教	カテーテルにコーティングされたPMEAのバイオフィルム形成抑制効果の証明	300,000	90,000
	侵襲反応制御部門	岡本 明久	研究員	プロポフォル誘導性ミトコンドリア依存性細胞障害のHIF-1活性化による抑制	2,200,000	660,000
	麻酔科学	西本 浩太	助 教	microRNAによる骨髄由来抑制細胞の制御が及ぼす敗血症時免疫抑制病態の解明	2,400,000	720,000
	小児科学	木全 貴久	講 師	腸内細菌叢に注目した膀胱尿管逆流症例に対する再発性尿路感染症の新規予防法の確立	1,200,000	360,000
	モデル動物部門	西村 愛美	助 教	体外成熟卵子への脂肪酸代謝機能の最適化による複合的アミノ酸添加培養液の開発	1,000,000	300,000
若手研究(B) 継続	放射線科学	上野 裕	助 教	大量ナノバブルにより増強したキャビテーション効果を利用したソノポレーションの評価	700,000	210,000
	産科学・婦人科学	都築 朋子	助 教	血管新生と低酸素誘導因子HIF-1に着目した子宮内膜症の新規治療戦略	0	0
	内科学第三	山口 隆志	助 教	進行肝細胞癌に対する分子標的治療の効果を予測する新規バイオマーカーの探求	600,000	180,000
	小児科学	山内 壮作	助 教	胎児期のカルシウム不足は、仔の成獣期に高血圧や慢性腎疾患を引き起こすのか？	900,000	270,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究(B) 継続	精神神経科学	池田俊一郎	助 教	非侵襲脳刺激法の統合失調症治療にむけた臨床症状及び客観的指標での検証	600,000	180,000
	麻酔科学	博多 紗綾	助 教	脊髄後角GABAA受容体δサブユニットの神経障害性疼痛における役割	700,000	210,000
	腎泌尿器外科学	吉田 健志	講 師	内視鏡下手術操作における技術分析と新規教育方法の開発	100,000	30,000
	生理学	倉岡 康治	助 教	社会的報酬の情報処理における腹側線条体と扁桃体の機能的結合形成	500,000	150,000
	救急医学	高橋 弘毅	助 教	救命センターにおける医療関連感染症の解明と制御(分子疫学検査を用いた多施設研究)	1,400,000	420,000
	放射線科学	丸山 拓士	助 教	難治性乳糜漏に対する胸管-下大静脈バイパス術の基礎的研究	500,000	150,000
	整形外科	植田 成実	助 教	超音波処理法と次世代シーケンサーによるインプラント周囲感染の新規診断法の構築	1,400,000	420,000
	麻酔科学	吉田 敬之	助 教	拡張現実(AR)技術を応用した麻酔穿刺針ガイドシステムの先駆的開発研究	600,000	180,000
	腎泌尿器外科学	谷口 久哲	助 教	movo/hovo遺伝子の精子形成に関する研究	1,600,000	480,000
	成人領域2	山口真有美	助 教	初期・二次救急外来受診後、帰宅する高齢者世帯患者に対する看護実践モデルの検討	300,000	90,000
	外科学	中竹 利知	助 教	抗腫瘍免疫賦活機能を付加した癌特異的複製型HSV-1による肝細胞癌への治療開発	1,700,000	510,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	助 教	LFA-1活性化シグナルによる細胞外小胞排出機構の解明	1,700,000	510,000
	実験病理学	厚海 奈穂	助 教	2段階細胞系譜追跡法の開発を通じた脳障害後の腺房細胞を起点とするがん化機構の解明	1,200,000	360,000
	化学	前野 覚大	助 教	細菌芽胞の圧力殺菌機構解明に向けた高圧NMRによる分子論的アプローチ	800,000	240,000
挑戦的萌芽研究 新規	薬理学	中邨 智之	教 授	弾性線維再生技術の開発	2,500,000	750,000
	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教 授	一分子計測によるリンパ球動態制御法の開発	4,000,000	1,200,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	老化に伴う免疫病態の分子基盤解明と治療戦略	2,800,000	840,000
	神経機能部門	林 勇一郎	研究員	内視鏡を用いた脳深部の新規3次元イメージング法	2,200,000	660,000
挑戦的萌芽研究 継続	心療内科学	阿部 哲也	講 師	医療面接におけるコミュニケーション技法の客観的評価指針の開発	700,000	210,000
	成人領域1	瀬戸奈津子	教 授	インシデント発生に関連する看護師のコンディション・アセスメントツールの開発	900,000	270,000

(単位：円)

平成29年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学から転入の代表者)一覽(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(A)	医学教育センター	片田 範子	教 授	オレムのセルフケア理論を基盤とした「こどもセルフケア看護理論」の構築	7,800,000	2,340,000	10,140,000
挑戦的萌芽研究	医学教育センター	西屋 克己	学長特命教授	医療者教育における反転授業を活用したアクティブ・ラーニングの実践と質的評価	700,000	210,000	910,000
若手研究(B)	生理学第二	倉岡 康治	助 教	社会的報酬の情報処理における腹側線条体と扁桃体の機能的結合形成	500,000	150,000	650,000
	麻酔科学	博多 紗綾	助 教	脊髄後角GABAA受容体δサブユニットの神経障害性疼痛における役割	1,000,000	300,000	1,300,000
	医学教育センター	山口真有美	助 教	初期・二次救急外来受診後、帰宅する高齢者世帯患者に対する看護実践モデルの検討	1,000,000	300,000	1,300,000
基盤研究(C)	実験病理学	庄野 朱美	研究員	小児ステロイド抵抗性ネフローゼの疾患遺伝子パネル構築と免疫因子検査体制の整備	1,400,000	420,000	1,820,000
	麻酔科学	萩平 哲	診療教授	鎮静レベルでの脳波変化の解明と鎮静モニターの開発	900,000	270,000	1,170,000
	内科学第二	高木 雅彦	診療教授	単極記録型ホルター加算平均心電図の開発とJ波症候群における有用性の検討	700,000	210,000	910,000
	生理学第二	眞田 尚久	助 教	大脳皮質高次視覚領野における複雑運動知覚の情報表現	600,000	180,000	780,000
決定額(追加分)合計					14,600,000	4,380,000	18,980,000

(単位：円)

平成29年度科学研究費助成事業(追加：分担者)一覽(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	直接経費	間接経費	合計
基盤研究(A)	薬理学	中邨 智之	教授	京都大学 教授 鈴木 茂彦	新規基材と機能性タンパク質を用いた弾性線維の三次元的再生医療の実用化	1,000,000	300,000	1,300,000
基盤研究(B)	生体情報部門	松田 達志	准教授	筑波大学 講師 三輪 佳宏	マウス高度非侵襲イメージングシステムの開発と応用	300,000	90,000	390,000
	医学教育センター	瀬戸奈津子	教授	大阪大学 教授 清水 安子	糖尿病患者セルフケア能力測定ツールを活用した外来患者用ICT看護システムの開発	50,000	15,000	65,000
	医学教育センター	加藤 令子	教授	兵庫県立大学 教授 増野 園恵	災害リスク管理における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発	450,000	135,000	585,000
	医学教育センター	片田 範子	教授	高知県立大学 特任教授 南 裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	100,000	30,000	130,000
基盤研究(C)	救急医学	高橋 弘毅	助教	大阪大学 特任研究員 大須賀 章倫	重症外傷患者における血管内皮障害と免疫応答メカニズムの解明	100,000	30,000	130,000
	医学教育センター	加藤 令子	教授	茨城県立医療大学 准教授 沼口 知恵子	医療を必要とする子どもの災害に備える力を高めるための支援ツール開発	460,000	84,000	544,000
	脳神経外科学	岩田 亮一	助教	高知大学 研究員 津野 隆哉	ヒト癌幹細胞に対するINF- α 賦活BID遺伝子/放射線集学的治療の検討	400,000	120,000	520,000
	医学教育センター	西屋 克己	学長特命教授	香川大学 准教授 Willey IanDavid	地域で活躍する医療従事者の英語ニーズの解明	25,000	7,500	32,500
	解剖学第一	田中 進	准教授	公益財団法人東京都医学総合研究所 研究員 本多 和樹	ナルコレプシーにおける、より侵襲性の低い診断方法の確立	300,000	90,000	390,000
	外科学	海堀 昌樹	准教授	立命館大学 教授 西澤 幹雄	新しい核酸医薬で敗血症を治療するための分子基盤の構築	100,000	30,000	130,000
	外科学	中竹 利知	助教	立命館大学 教授 西澤 幹雄	新しい核酸医薬で敗血症を治療するための分子基盤の構築	50,000	15,000	65,000
	放射線科学	米虫 敦	診療講師	慶應義塾大学 助教 井上 政則	乳癌胸水に対する経皮的胸管塞栓術の基礎的検討/実験動物モデルの確立と安全性の検討	10,000	3,000	13,000
	侵襲反応制御部門	廣田 喜一	学長特命教授	公益財団法人田附興風会 部長 足立 健彦	急性肺障害の慢性化過程に動的な生体内レドックスリモデリングが果たす役割の追求	650,000	195,000	845,000
	解剖学第一	若林 毅俊	非常勤講師	国際医療福祉大学 教授 小阪 淳	再生視神経回路のリハビリテーションによる視覚中枢の遺伝子発現パターン修飾	30,000	9,000	39,000
	救急医学	高橋 弘毅	助教	大阪大学 助教 清水 健太郎	セプシス・外傷に対するリンパ球・好中球の生体反応からみた免疫学的病態解析法の確立	50,000	15,000	65,000
	小児科学	石崎 優子	准教授	滋賀大学 准教授 芦谷 道子	小児聴覚処理障害に対する雑音下聴力評価及び他覚的評価の開発と心身臨床教育的支援	30,000	9,000	39,000
		友田 幸一	学長	滋賀大学 准教授 芦谷 道子	小児聴覚処理障害に対する雑音下聴力評価及び他覚的評価の開発と心身臨床教育的支援	20,000	6,000	26,000
	精神神経科学	木下 利彦	教授	日本福祉大学 准教授 吉野 真紀	性同一性障害当事者の自己実現過程と心理的变化に関する研究	50,000	15,000	65,000
	救急医学	高橋 弘毅	助教	大阪大学 助教 吉矢 和久	次世代シーケンサーを用いた急性脳炎・脳症診断への新たな取り組み	50,000	15,000	65,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 助教 徳平 夏子	急性腎障害に関連するmiRNA-ceRNAクロストークとバイオマーカーへの応用	440,000	132,000	572,000
	脳神経外科学	埜中 正博	診療教授	大阪電気通信大学 教授 渡邊 郁	正規化・データベース化した病理DICOMの探索による術中患部移動変形計算について	300,000	90,000	390,000
	化学	太田 美穂	研究員	相愛大学 教授 品川 英朗	MRI動画記録法を用いた口腔咽頭領域での嚥下調整食・とろみ食の流動評価	800,000	240,000	1,040,000
	医化学	伊藤 誠二	教授	大阪工業大学 教授 芦高 恵美子	NIPSNAPIによるTRPV2を介した機械刺激応答制御と線維筋痛症との関連	50,000	15,000	65,000
	外科学	井上健太郎	准教授	滋賀医科大学 助教 山口 剛	減量外科治療における効果不良因子の検討-多施設共同調査研究	192,000	57,600	249,600
麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 助教 中山 力恒	病態解明および創薬を目標とした小児先天性心疾患患者の赤血球中microRNA解析	10,000	3,000	13,000	
麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 客員講師 影山 京子	microRNA急性腎障害発症機序の解明と早期診断バイオマーカーへの応用	380,000	114,000	494,000	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	兒島 由佳	診療講師	長崎大学 講師 五月女 さき子	放射線性多発う蝕の発生機序の解明と予防法に関する多施設共同ランダム化比較試験	50,000	15,000	65,000	
医学教育センター	瀬戸奈津子	教授	淑徳大学 講師 松田 直正	介護保険施設における糖尿病患者のアドヒアランス維持に資するケア評価尺度開発と検証	200,000	60,000	260,000	
麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 客員講師 前田 祥子	2型糖尿病易感染症病態の解明と治療に向けた白血球遺伝子及びcfDNAの網羅的解析	100,000	30,000	130,000	
挑戦的研究(萌芽)	生物学	岡野 圭子(今井圭子)	講師	大阪大学 教授 永井 健治	ケミルミノジェネティクスによる構成的エネルギー生成系の創出	1,000,000	300,000	1,300,000
決定額(追加：分担者)合計						7,747,000	2,270,100	10,017,100

(単位：円)

厚生労働省関係

平成30年度厚生労働科学研究費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三	岡崎 和一	教授	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	19,230,000	5,769,000	24,999,000
合 計					19,230,000	5,769,000	24,999,000

(単位:円)

平成29年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	微生物学	竹谷 茂	研究員	神経皮膚症候群に関する診療科横断的な診療体制の確立	神戸大学 大学院医学研究科 教授 錦織 千佳子	800,000
	内科学第三	岡崎 和一	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	東邦大学 医学部 教授 鈴木 康夫	250,000
	外科学	濱田 吉則	名誉教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	東北大学 大学院医学系研究科 教授 仁尾 正記	160,000
	皮膚科学	神戸 直智	准教授	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドラインの確立に関する研究	京都大学 大学院医学研究科 教授 平家 俊男	600,000
	眼科学	高橋 寛二	教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山形大学 医学部 教授 山下 英俊	400,000
がん対策推進総合研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	高齢者のがん医療の質の向上に資する簡便で効果的な意思決定支援プログラムの開発に関する研究	国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長 小川 朝生	700,000
合 計						2,910,000

(単位:円)

平成29年度厚生労働省その他補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
労災疾病臨床研究事業費補助金	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	鈴鹿 有子	学長特命教授	騒音性難聴による生活の質と労働生産性の低下を防ぐ予防から発症後まで俯瞰したデータ収集と現場の支援	筑波大学 医学医療系 准教授 和田 哲郎	500,000
慢性疼痛診療体制構築モデル事業費補助金	心療内科学	水野 泰之	助教	慢性疼痛診療体制構築モデル事業	大阪大学 疼痛医療センター 副センター長 柴田 政彦	1,000,000
合 計						1,500,000

(単位:円)

平成29年度厚生労働科学研究費補助金(分担者)一覧(代表管理分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野))	衛生学	藤岡 龍哉	准教授	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関-移植用臍帯血有効利用への応用-	衛生学 教授 藪田 精昭	-
	衛生学	松岡 由和	助教	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関-移植用臍帯血有効利用への応用-	衛生学 教授 藪田 精昭	-
	内科学第一	野村 昌作	教授	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関-移植用臍帯血有効利用への応用-	衛生学 教授 藪田 精昭	-
	内科学第一	藤田 真也	助教	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関-移植用臍帯血有効利用への応用-	衛生学 教授 藪田 精昭	-

その他公的研究費
平成29年度 日本医療研究開発機構 (AMED)、科学技術振興機構 (JST) 等 委託費等採択一覧

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	形成外科学	森本 尚樹	准教授	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発～First-in-man臨床研究から先進医療へ	研究代表者	京都大学 国立循環器病研究センター 大阪工業大学	36,461,538	10,938,461	47,399,999
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	井上健太郎	准教授	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	研究分担者	国立がん研究センター 医員 岩佐 悟	536,400	160,920	697,320
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長 小川 朝生	3,300,000	990,000	4,290,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	認知症合併に対応した最適の治療選択と安全性の向上を目指した支援プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長 小川 朝生	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	研究分担者	東京大学 医科学研究所 教授 藤堂 具紀	1,076,924	323,076	1,400,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第II相試験	研究分担者	国立がん研究センター 病棟医長 仁保 誠治	100,000	—	100,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験(JCOG1404/WJOG8214L:AGAIN)	研究分担者	国立がん研究センター 副院長 大江 裕一郎	450,000	135,000	585,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	心療内科学	蓮尾 英明	助 教	がん患者の難治性神経障害性疼痛へのエビデンスに基づく標準的薬物療法の開発	研究分担者	近畿大学 講師 松岡 弘道	211,000	63,300	274,300
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三	岡崎 和一	教 授	IgG4 関連疾患の新規バイオマーカーと治療ターゲット開発に関する研究	研究分担者	京都大学 教授 三森 経世	1,700,000	510,000	2,210,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	皮膚科学	神戸 直智	准教授	自己炎症性疾患の治療標的分子同定および薬剤開発基盤整備	研究分担者	京都大学 特任教授 平家 俊男	1,350,000	405,000	1,755,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	皮膚科学	神戸 直智	准教授	自己炎症性症候群Blau症候群と中條西村症候群の病態解析と新規治療標的探索	研究分担者	京都大学 iPS細胞研究所 准教授 齊藤 潤	1,200,000	360,000	1,560,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	腎泌尿器 外科学	松田 公志	教 授	内視鏡外科手術における熟練技術追体験システムを使用したトレーニングシステムの評価	研究分担者	大阪大学 准教授 安藤 英由樹	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第二	高木 雅彦	診療教授	ブルガダ症候群における心臓突然死のリスク予測モデルの構築と診療応用のための研究	研究分担者	広島大学 准教授 中野 由紀子	769,231	230,769	1,000,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム	内科学第一	伊藤 量基	准教授	TLR7を標的としたSLE治療薬の開発	研究分担者	富山大学 客員教授 長井 良憲	1,200,000	360,000	1,560,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	再生医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	研究分担者	久留米大学 教授 鳥村 拓司	3,829,561	1,148,868	4,978,429
日本医療研究開発機構 (AMED)	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学	田中 正和	助 教	HTLV-1感染・発症予防ワクチン開発に関する研究	研究分担者	国立感染症研究所 エイズ研究センター センター長 俣野 哲朗	603,555	181,066	784,621

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 ニューロリハビリシステム	整形外科学・リハビリ科	長谷 公隆	診療教授	未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発/先端医療機器の開発/麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発	研究分担者	慶應義塾大学 教授 里宇 明元	7,692,308	2,307,692	10,000,000
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 CREST	実験病理学	上野 博夫	教 授	多色蛍光コーディングと1細胞・in situイメージング法によるオミクスデータの検証	研究分担者	理化学研究所 ユニットリーダー 二階堂 愛	28,477,000	8,543,100	37,020,100
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム COI拠点「人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点」	精神神経科学	西田圭一郎	講 師	経頭蓋直流刺激(tDCS)による活性化	研究分担者	中核機関・大阪大学COI拠点	5,000,000	1,500,000	6,500,000
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 A-step シーズ育成タイプ	神経機能部門	小早川令子	学長特命 教 授	害獣忌避剤のコントロールドリリリース技術の開発	研究分担者	代表機関・株式会社カネカ	12,000,000	3,600,000	15,600,000
情報通信研究機構 (NICT)	高度通信・放送研究開発委託研究	整形外科学・リハビリ科	長谷 公隆	診療教授	脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 副題：外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発	研究分担者	代表機関・株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)	4,545,455	454,545	5,000,000
国立精神・神経医療研究センター (NCNP)	精神・神経疾患研究開発費	神経内科学	近藤 誉之	診療教授	神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	研究分担者	国立精神・神経医療研究センター 特任研究部長 山村 隆	400,000	-	400,000
国立がん研究センター (NCC)	がん研究センター研究開発費	放射線科学	谷川 昇	教 授	IVRの開発と標準化のための基盤研究	研究分担者	国立がん研究センター IVRセンター長 曾根 美雪	-	-	-
国立がん研究センター (NCC)	がん研究センター研究開発費	内科学第一	吉岡 弘鎮	准教授	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究 (JCOG)	研究分担者	国立がん研究センター 副院長 大江 裕一郎	350,000	-	350,000
国立長寿医療研究センター (NCGG)	長寿医療研究開発費	中野智之	薬理学講座	教 授	高齢者特有の組織物性と環境に基づく皮膚創傷・脈管病変の診療体系の構築	研究分担者	国立長寿医療研究センター 医長 磯貝 善蔵	950,000	-	950,000
合 計								114,202,972	32,811,797	147,014,769

(単位：円)

その他外部資金

平成29年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

平成29年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等を下記の研究者が贈呈された。

研究助成金額合計：¥34,143,000

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団 平成29年度 海外研究医受け入れ助成	腎泌尿器外科学講座 松田 公志 教授	泌尿器内視鏡手術の技術分析：エルゴノミクスと筋電図を用いた最適術者動作の解明	400,000
一般財団法人 大阪腎泌尿器疾患研究財団 大阪腎泌尿器疾患研究財団後方研究	腎泌尿器外科学講座 松田 公志 教授	去勢抵抗性前立腺癌の治療実態に関する後方研究	1,000,000
公益財団法人 石本記念アサントスポーツ科学振興財団 平成29年度公益財団法人石本記念アサントスポーツ科学振興財団学術研究助成	健康科学 高尾 奈那 大学院生	各種動脈硬化指標からみたサルコペニア肥満の診断基準の確立	500,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2017年度医学系研究奨励	神経機能部門 山中 智子 研究員	先天的恐怖が誘導する体温低下を抑制するメカニズムの解明	2,000,000

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 武田科学振興財団 2017年度ビジョナリーリサーチ助成	薬理学講座 平井 希俊 講師	ErbB2/4を介した心筋細胞の増殖誘導	2,000,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2017年度ビジョナリーリサーチ継続助成 (ホップ)	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	嗅覚創薬を司る分子実態の解明	5,000,000
公益財団法人 三井生命厚生財団 第50回医学研究助成	腎泌尿器外科学講座 矢西 正明 助教	腎移植レシビエントのフレイルおよびサルコペニアの実態把握と その対策	1,000,000
一般財団法人 救急振興財団 委託研究事業	救急医学講座 池側 均 准教授	Mobile phoneの画像伝送機能によるドクターカー活動の利便性の 検証	532,000
テルモ生命科学芸術振興財団 2017年度研究開発助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	ヒト型先天的恐怖受容体を用いた虚血再灌流障害抑制法の研究	2,000,000
ダノン健康栄養財団 平成30年度ダノン学術研究助成金	解剖学第一講座 和田(平原) 幸恵 講師	生体内環境変化にともなう胆汁酸分子種の可視化	2,000,000
公益財団法人 先進医薬研究振興財団 平成29年度(第16回)循環医学分野一般研 究助成金	薬理学講座 平井 希俊 講師	心不全治療に向けた成熟心筋細胞の増殖制御の試み	1,000,000
公益財団法人 先進医薬研究振興財団 平成29年度 精神薬療分野研究助成金	精神神経科学講座 加藤 正樹 准教授	遺伝子発現制御因子によるうつ病プレジジョンメディシンを目指 した臨床薬理研究	1,000,000
一般社団法人 日本臨床薬理学会 2017年度「臨床薬理研究振興財団賞学術 奨励賞」	精神神経科学講座 加藤 正樹 准教授	ゲノミクス-エピゲノミクス-インフォマティクスによる、精神科 領域でのプレジジョンメディシンを目指した臨床薬理学的研究	3,000,000
一般財団法人 日本臨床精神神経薬理学 会 ポール・ヤンセン賞論文	精神神経科学講座 加藤 正樹 准教授	うつ病4週間単剤治療での“Non-response”は、その後の抗うつ薬併用 の臨床指標として有用か? シーケンシャルRCT “GUNDAM”より	800,000
公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団 平成29年度 研究助成金	腎泌尿器外科学講座 井上 貴昭 講師	光ファイバー圧力センサーカテーテルを用いた軟性腎盂尿管鏡に よる逆行性持続腎盂内圧モニタリング: in vitro研究	500,000
公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団 平成30年度 海外研究医受け入れ助成	腎泌尿器外科学講座 松田 公志 教授	泌尿器腹腔鏡手術のセッティングと手技の習得に関する研究	400,000
公益財団法人 森永奉仕会 平成28年度研究奨励金	小児科学講座 藤代 定志 病院助教	バルプロ酸ナトリウムによる低カルニチン血症とFanconi症候群発 症の関連性	400,000
公益財団法人 大阪コミュニティ財団 2018年4月助成 がん研究助成金	内科学第三講座 池浦 司 講師	大阪府北河内地区における膝癌早期発見を目指した地域医療連携 システムの構築	1,000,000
公益財団法人 上原記念生命科学財団 特定研究助成金 (初年度: 2018年1~3月、2年度: 2019年 1~3月、3年度: 2020年1~3月度)	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	先天的恐怖情動による危機対応低代謝の誘導メカニズム	9,000,000
独立行政法人 日本学術振興会	放射線科学講座 中村 聡明 准教授	「光のメス」放射線で治す最先端がん治療	311,000
特定非営利活動法人 近畿がん診療推進 ネットワーク 若手ステップアップがん研究助成金	内科学第一講座 吉村 英晃 病院助教	セマフォリン4Aを標的とした新規GVHD制御法の開発	300,000
特定非営利活動法人 近畿がん診療推進 ネットワーク 若手ステップアップがん研究助成金	内科学第一講座 東 由子 大学院生	ヒト樹状細胞における免疫調整薬lenalidomideと抗SLAMF7抗体 Elotuzumabの免疫学的作用機序の解明	500,000
国立大学法人 徳島大学 平成30年度徳島大学先端酵素学研究所 「共同利用・共同研究」	分子遺伝学部門 木梨 達雄 教授	ヒトおよびマウス胸腺細胞との相互作用による胸腺上皮細胞の成 熟過程の解析	-

(掲載情報は申請当時)

附属病院 病院機能評価認定を受ける

本学附属病院は、平成30年1月17～18日に公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、下記のとおり認定を受けました。

- 認定番号：認定第JC2254号 ● 認定日：2018年4月6日
- バージョン：機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.1
- 認定期間：2018年4月6日～2023年4月5日 ● 種別：一般病院2



コメント

附属病院 病院長 澤田 敏

このたび当院は日本医療機能評価機構の認定病院となりました。今回の受審は、患者中心の医療の提供や病院理念に向けた取組み、質の高い医療の提供等について見直すひとつの契機となりました。この経験を活かして、JCIを受審し、世界水準の大学病院を目指します。

なお、松田副病院長をはじめ教職員の皆様におかれましては、受審に対して真摯にご対応いただきありがとうございます。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

概要

日本医療機能評価機構とは、医療の質の向上を図るために、医療機関の機能を中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関です。

病院機能評価とは、同評価機構が国内の病院を対象として、組織全体の運営や提供される医療について、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営等の観点から、専門的な立場で評価を行うものです。

当院は、北河内二次医療圏において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院として第三者機関から認定されたこととなります。

特定機能病院の要件では、「病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていることが望ましい」とされています。

附属病院 災害医療研修会開催

6月15日(金)、7月2日(月)の2回にわたり枚方学舎医学部棟加多乃講堂にて災害医療研修会が行われました。

第1回は「災害医療総論」について、第2回は「大阪北部地震活動報告」と「災害拠点病院としての役割」について、附属病院救急医学科櫻本和人病院講師、同中嶋麻里助教がそれぞれ講演しました。

「災害医療総論」では災害とは何か、災害が起こった際にはどのような行動を取ればよいのかなどが解説されました。

「大阪北部地震活動報告」では発災4分後に災害対策本部が立ちあげられて以降の経過や、体験してわかった課題や反省点が述べられました。続いての「災害拠点病院としての役割」の講演では、災害拠点病院としての役

割の説明に加えて、発災後の附属病院の基本姿勢や職員参集場所の確認、各ゾーンの場所や指揮系統などについて大きく取り上げられました。



活動報告で映された6月18日(月)の災害対策本部の写真

附属病院 肝臓の病気に関する市民公開講座

4月21日(土)午後3時から附属病院13階講堂において「肝臓の病気 最新の治療や運動食事療法を知ろう」をテーマに市民公開講座が開催され、市民62名が来場しました。

澤田敏病院長による挨拶の後、肝胆膵外科海堀昌樹准教授が司会を務め、講演が行われました。

「慢性肝炎および肝臓がんに対する内科的治療」として消化器肝臓内科池田広記准教授が、「肝臓がん～進行肝がんを含めた最新の外科的治療の実際～」として肝胆膵外科石崎守彦助教が、「肝臓がんに対するカテーテル治療」として放射線科狩谷秀治准教授が、「慢性肝疾患に対する運動・栄養療法の全て」として健康科学センター宮内拓史健康運動指導士がそれぞれ講演しました。

講演では実際の治療の写真や動画を使用してわかりや

すく説明がなされ、司会の海堀准教授が講演ごとにまとめや補足、臨床試験を説明するなど、聴講者の理解を深めました。また長時間座り続けていた参加者に、宮内健康運動指導士がストレッチを促す一幕もありました。



ストレッチを促す宮内健康運動指導士

総合医療センター 守口市と災害時の協定を締結

6月13日(水)午前10時から守口市役所において、本学総合医療センターと守口市との間で「災害時における施設の一時利用に関する協定」が結ばれ、調印式が行われました。本協定は、地震などの大規模災害等が発生したときに、地域住民のみなさんなどの安心安全を確保するために、総合医療センターホスピタルガーデンを一時的に避難場所として使用するもの。この日は総合医療センター杉浦哲朗病院長と守口市西端勝樹市長が出席し、協定書にサインした後、記念撮影を行いました。



守口市西端市長(右)と杉浦病院長(左)

香里病院 香里病院市民公開講座開催

4月21日(土)午後2時から、アルカスホール(寝屋川市立地域交流センター・寝屋川市)において「香里病院市民公開講座」が開催され、市民ら195名が来場しました。

この日は冒頭香里病院神崎秀陽病院長の挨拶の後、“健康寿命をのばそう”をテーマに同院眼科埴本慎部長が座長を務め、同院高山康夫顧問が「生活習慣病に注意して心不全を予防しよう」を、同院リハビリテーション科沖塩尚孝医長が「大学病院併設のデイケアとして 医師の立場から」を、同院リハビリテーション科脇田正徳理学療法士が「同・理学療法士の立場から」を、それぞれ講演しました。各講演後の質疑応答コーナーでは盛んに質

問が飛ぶなど盛り上がりを見せた市民公開講座は、同院看護部安本マリ部長の挨拶をもって閉会しました。



講演する高山顧問(左)と、座長の埴本部長(右)

病 院 第1回関西アレルギーカンファレンス開催

4月7日(土)午後3時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において、関西アレルギーカンファレンス主催で第1回関西アレルギーカンファレンスが開催されました。

附属病院アレルギーセンター金子一成センター長による挨拶の後、附属病院アレルギーセンター所属の小林良樹講師が座長を務め、「アレルギー性気道疾患と治療薬について」と題して杏林製薬株式会社学術推進部野島陽子氏が、「領域を跨ぐ重症アレルギー疾患への対応」と題して総合医療センターアレルギーセンター朝子幹也センター長が講演しました。最後に附属病院アレルギーセンター宮良高維副センター長が座長を務め、横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター中村陽一センター長による「アレルギーセンターの役割～内科医が遭遇するアレル

ギー疾患について～」と題した特別講演が行われました。

参加した33名は、薬剤・臨床現場・アレルギーセンターの仕組みなど多岐に渡る内容について耳を傾けていました。



講演を行う朝子センター長(総合医療センターアレルギーセンター)

附属看護専門学校戴帽式



ナイチンゲール誓詞を朗唱する戴帽生

5月10日(木)午前10時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において、附属看護専門学校第38期生の戴帽式が行われました。学生の保護者ほか多くの臨席者が見守るなか、臨地実習を控えた79名の学生に、ナースキャップとナイチンゲールの精神を象徴する聖火が授けられました。

楠本健司学校長の式辞に続き、来賓の山下敏夫理事長、附属病院澤田敏病院長、安田照美統括看護部長から戴帽生へ、それぞれ激励の言葉が贈られました。

学校長式辞

38期生79名のみなさん、戴帽式を迎えられ誠におめでとうございます。本日まで出席いただきました保護者やご家族の皆様方、ようこそお出でいただきました。先ほどの戴帽とキャンドルサービスの厳粛なセレモニーをご覧になり、1年余り前には高校生であったご子弟が、立派に看護師への歩みを進められている成長を目の当たりにされたことと思います。心よりお慶びを申し上げます。併せまして、ご来賓の皆さまには、ご多忙中戴帽生のためにご臨席を賜りましたこと、教員を代表して心より御礼を申し上げます。

戴帽式とは、古くは患者さんのお世話をしていた修道女たちが茨の冠を頭に被りその治癒を神に祈ったことに由来し、ナイチンゲールの時代には、着衣式として行われていたと聞いています。現在、看護の現場では医療安全や感染症の考えからナースキャップは使われていないことが多いのですが、戴帽式は看護師になるという志を改めて認識する意義深い機会となっています。明後日は皆さんが敬愛するナイチンゲールが1820年5月12日にイタリアのフローレンスで生まれた生誕の日でもあります。この5月12日は本邦では看護の日と制定され、今週を看護週間と名付けられています。また、世界的にも国際看護師の日と制定されています。皆さん自身のご家族の誕生日とともにこの5月12日も記憶しておいてください。みなさんが先ほどナイチンゲール像から受け取った灯は、まさに「看護の心」であり、みなさん自身で暖め、看

護の現場で患者さんたちに是非伝えて貰いたいと思います。

看護師に求められることは、すでにみなさんが授業で学んだように看護学や医学の知識を得ること、看護の技術を身につけること、患者さんだけでなくそのご家族や同僚とも良いコミュニケーションができる能力を身につけることです。この戴帽式に当たり今後さらに患者さんに近い実習を進めるみなさんに私から3つのことを伝えておきたいと思います。

一つはコミュニケーションの中で最も重要なことばのことです。患者さんへの言葉かけは極めて重要です。時に患者さんを傷つけたり、不快にさせてしまうことがあります。慈愛を持って正しいことを伝えるように言葉づかいは慎重に十分気をつけてください。二つ目は、身だしなみをきっちりすることです。華美にならないように清潔な印象のよい身だしなみに心がけましょう。茶道や華道、スポーツに至っても形から入ります。これによって患者さん達からの信頼も得ることができます。三つ目は、みなさんは看護学生であり、まだ一人前の看護師ではありません。実習の現場などで分からないことが生じてきます。そのような時には必ず教員や先輩看護師、医師に相談してください。必ずや良い指導を得ることができます。

戴帽生のみなさんには、今後一層勉学や実習に励み、「看護の心」を患者さんに届けつづけることができる立派な看護師になってもらうことを心より願っています。

本日は戴帽式を迎えられ誠におめでとうございました。

初期臨床研修合同説明会『研修医と語ろう会』を実施

5月19日(土)午後3時から、附属病院13階講堂及びレストラン「のぞみ」において、平成31年度初期臨床研修医募集のための合同説明会が行われました。

冒頭、卒後臨床研修センター金子一成センター長が本学の臨床研修モデル、募集定員やスケジュールなどについて説明しました。続いて、研修医から自身の研修体験談や普段の日常生活を踏まえた説明があり、参加した学生からは「研修医の先生方から色々な話を聞くことができ、より一層、関西医科大学病院に興味を持った」と好評を博しました。その後、会場をレストラン「のぞみ」に移し、指導医も交えて情報交換会を開催。終始盛り上がりを見せていました。



初期臨床研修合同説明会の様子

専門研修合同説明会を実施

6月2日(土)午後3時から枚方学舎医学部棟3階学生食堂において、平成31年度専門研修合同説明会が開催されました。当日は本学1年次研修医10名、2年次研修医12名、他病院研修中の研修医6名の計28名が参加しました。説明会開催に先立ち、松田公志副学長(腎泌尿器外科学講座教授)の挨拶の後、卒後臨床研修センター金子一成センター長(小児科学講座教授)から、新専門医制度について説明がありました。引き続き、17プログラム43名の指導医がブースに分かれて各プログラムの説明にあたり、午後4時30分からは同会場にて、情報交換会を開催しました。



専門研修合同説明会の様子

関西医大 × りそな銀行 @ 枚方 T-SITE

❖ 医療健康セミナー(無料) ❖

第10回

8月18日(土)

「胃・大腸カメラ、こんな症状の時にオススメします」

附属病院 消化器肝臓内科 森 茂生 病院准教授/福井 寿朗 講師

第11回

9月29日(土)

「怖い不整脈と気にしなくてよい不整脈」

附属病院 循環器内科 塩島 一朗 教授

いずれも
午後2時～
午後3時

※講演テーマ・講師は変更になる可能性があります。

- 会場：枚方 T-SITE 7 階りそな銀行枚方支店 りそなホール(京阪電車枚方市駅南口 直結徒歩約 1 分) 事前申込優先(当日でも空席があれば参加できます)
- お申込み方法：右記 QR コード、または下記 URL からお申込みページへアクセス
- お申込みページ：<https://goo.gl/forms/wJNsvRfZaEIFQpS53>





学会賞受賞情報

2018年4月～6月の学会賞受賞者を紹介します。

日本眼科学会評議員会賞

眼科学講座 高橋 寛二 教授

- テーマ 脈絡膜新生血管の生体イメージングと病理相関
- 授与学会 第122回日本眼科学会総会



森田賞(学会論文賞)

小児科学講座 辻 章志 准教授

- テーマ The Effect of Family Assistance to Wake Children with Monosymptomatic Enuresis in Alarm Therapy: A Pilot Study.
- 授与学会 第53回日本小児腎臓病学会・学術集会



最優秀演題賞

心療内科学講座 蓮尾 英明 助教

- テーマ がん患者の神経障害性疼痛に対するデュロキセチンの有用性：無作為化二重盲検プラセボ比較試験
- 授与学会 第23回日本緩和医療学会学術大会



平成30年度 池見賞

心療内科学講座 蓮尾 英明 助教

- テーマ Relationship between Alexithymia and Latent Trigger Points in the Upper Trapezius
- 授与学会 第59回日本心身医学会総会ならびに学術講習会

Travel Grant Award

外科学講座肝胆膵外科 小坂 久 助教

- テーマ An Analysis of the Risk Factor of Delayed Gastric Emptying after Pancreas Head Resection
- 授与学会 Joint Meeting of the Asian-Oceanic Pancreatic Association, the Korean Pancreatobiliary Association, and the Korean Pancreas Surgery Club 2018 (AOPA & KPBA & KPSC 2018)



第59回日本心身医学会総会ならびに学術講演会 Travel Award

心療内科学講座 木場 律志 研究員

- テーマ 自律訓練法による身体症状の改善は、どのような患者で期待できるか～機能性身体症候群患者の主観的評価から～
- 授与学会 第59回日本心身医学会総会ならびに学術講習会



Hiroto 賞(優秀演題賞)

小児科学講座 赤川 友布子 大学院生

- テーマ Anti-proteinuric effect of an endothelin-1 receptor antagonist in puromycin aminonucleoside induced nephrosis in rat
- 授与学会 The 16th Korea-China-Japan Pediatric Nephrology Seminar 2018



優秀論文賞

小児科学講座 大沼 竹紫 大学院生

- テーマ Decreased urinary excretion of the ectodomain form of megalin(A-megalin) in children with OCRL gene mutations
- 授与学会 第27回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会



Travel Grant Award

外科学講座 良田 大典 大学院生

- テーマ Clinicopathological Features and Immune Profiles of Follicular Pancreatitis
- 授与学会 50th EPC the JUBILEE MEETING OF THE EUROPEAN PANCREATIC CLUB



関西医科大学広報 vol.41 (2018年6月15日発行)、P12掲載「看護学部・看護学研究科4分野生涯発達看護分野」記載内容に誤りがありました。

(誤)教授 酒井明子 → (正)教授 酒井ひろ子 お詫びして訂正申し上げます。



教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。

(主に平成30年4月1日～6月31日 ※判明分のみ)

香里病院小児科	大阪小児科医会会報2018年4月号 (4月)	大阪の小児科開業医を主体とした「大阪小児科医会」の会報に、関西医科大学香里病院小児科と、同小児科が主催している病診連携の勉強会「京阪こどもカンファレンス」が紹介されました。
健康科学教室 木村 穰 教授	朝日放送「おはよう朝日です」 (4月4日)	「けさのクロズアップ」のコーナーで「心不全を正しく理解しよう」をテーマに、突然死を招くこともある心不全の特徴や、原因となる代表的な4種類の病気、リスクを知るための検査法について木村教授が解説しました。
看護学部	NHK「ニュースほっと関西」他 (4月9日)	看護専門学校の減少と看護系大学・学部が増えを取り上げた特集の中で、本学看護学部が取り上げられ、本学や看護系大学を選んだ理由を語る看護学部学生のインタビューが放送されました。
健康科学教室 木村 穰 教授	読売テレビ「かんさい情報ネット ten.」 (4月10日)	「冬太りを解消！自宅で簡単「春ダイエット」」と題した特集で、春にダイエットする利点や、有効なダイエット法について木村教授が解説しました。
リハビリテーション 医学講座 長谷 公隆 教授	朝日新聞朝刊 他 (4月13日)	4月12日(木)に実施した、長谷教授らの研究チームと株式会社テクリコが共同開発した世界初のMR技術を活用した認知機能改善リハビリ治療についての記者会見が取り上げられ、開発の経緯や実演の様子、今後の展開などに関する発表内容が紹介されました。
関西医科大学	毎日放送「ロンプー淳の居座り。」 (4月13日)	ロンドンブーツ1号2号の田村淳さんが「居座り」、LINEで提供される情報をもとにその場所の実態を掘り下げた番組で関西医科大学が取り上げられ、本学の医師や学生、シミュレーションセンターや附属病院で使用している手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」などが紹介されました。
形成外科学講座 森本 尚樹 准教授	毎日新聞 他 (4月17日)	森本准教授が京都大学在籍中に研究していた、重度の熱傷やこれまで治療の困難だった糖尿病性皮膚潰瘍などへの治療効果が高い人工皮膚が、製造承認を取得したことが取り上げられ、同准教授の「(糖尿病性皮膚潰瘍が)悪化前に治療できる」とのコメントが掲載されました。
眼科学講座 高橋 寛二 教授	読売新聞 朝刊 (4月17日)	連載企画「医療ルネサンス」で加齢黄斑変性を取り上げられ、高橋教授が主治医として担当中の患者さんに本学附属病院で実施している、従来より負担の少ない加齢黄斑変性の治療法が紹介され、同教授の「治療で視力が改善することもある」とのコメントが掲載されました。
附属生命医学研究所 細胞機能部門 小原 圭吾 講師	朝日放送 「雨上がりの「Aさんの話」～事情通に聞きました!～」 (4月17日)	人の記憶の書き換えに関する最新研究を紹介する放送回で、小原講師が監修を担当した番組が放送されました。
精神神経科学講座 木下 利彦 教授	関西医事新報 (4月20日)	木下教授のロングインタビューが掲載され、講座の概要や総合医療センターで展開している専門外来の特色、薬理遺伝学と脳科学的アプローチで実績を上げている研究面での取り組みから、生活技能訓練を取り入れた治療方針まで、多岐に渡って紹介されました。
看護学部 三木 明子 教授	時事通信 (4月29日)	患者さんや家族による病院職員への院内「暴力」を取り上げた記事で、同問題に詳しい専門家として、三木教授のコメント、および日本外来小児科学会の春季カンファレンスにおける同教授の講演を基にした解説が掲載されました。
腎泌尿器外科学講座 松田 公志 教授	NHK「おはよう関西」 (5月15日)	松田教授がVTR出演し、旧日本軍兵士が持っていた日章旗の持ち主を探して欲しいと米国人医師から依頼されたこと、寄せ書きに書かれた情報をもとに静岡県富士川町役場に問い合わせたが成果がなかったこと、「なんとか関係者が見つかってほしい」のコメントなどが紹介されました。
総合医療センター	読売新聞・毎日新聞 いずれも朝刊 (5月23日)	本学総合医療センターが5月22日(火)、ホスピタルガーデンの完成をもってグランドオープンしたことが取り上げられ、約8,800平方メートルの敷地内に池や東屋が設けられていることや、テープカットを行った山下敏夫理事長のコメントなどが紹介されました。
総合医療センター	大阪日日新聞 (6月1日)	創立90周年記念事業の一環として、総合医療センターにホスピタルガーデンをオープンしたことが紹介され、5月22日(火)の完成式典での山下敏夫理事長のコメントなどが掲載されました。
法医学講座 橋谷田 真樹 准教授	産経新聞 朝刊 (6月12日)	殺人事件の再審訴訟において争点となっていた新しいDNA鑑定手法に関する記事で、橋谷田准教授のコメントが紹介されました。
眼科学講座 高橋 寛二 教授	読売新聞 朝刊 (6月15日)	医療に関する読者からの質問に医師が答える連載企画「からだの質問箱」に寄せられた、加齢黄斑変性と診断されたら視力がなくなるのでは？との質問に対し、加齢黄斑変性の症状、治療法、発病していない目を守るための対策について、高橋教授が解説しました。
看護学部 三木 明子 教授	神戸新聞 夕刊他 (6月21日)	全国訪問看護事業協会が、訪問看護師が利用者や家族から受ける暴力などのトラブルについて初めて大規模な全国調査を行った結果が紹介され、調査を担当した専門家として三木教授のコメントが掲載されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

今号の制作中には、本学創立90周年記念式典という大きなイベントがありました。広報戦略室スタッフは関連広報物の制作でここ数ヶ月でてこ舞いでしたが、多くの方の多大なご尽力のおかげで何とか制作を完了できました。当日の様子は後日発行の『広報誌特別号』で紹介予定です。ぜひご覧ください。

ところで、創立記念日の6月30日正午に、学舎正面のオペリスクのスリットを太陽光が通過し、下に置かれたプレートを指し示すように設計されているのをご存知でしょうか。次のチャンスは一年後！こちらでもぜひご覧ください。(さ)

関西医科大学広報 Vol.42

発行 学校法人 関西医科大学

編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)

FAX 072-804-2344

http://www.kmu.ac.jp/

E-mail : kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

平成30年9月7日(金)発行